

厚生労働科学研究費補助金（認知症対策総合研究事業）
平成 25 年度 分担研究報告書「認知症のケア及び看護技術に関する研究」

認知症疾患別の認知機能や問題行動の状況および提供されるケアの特徴
介護保険施設入所高齢者へのタイムスタディ分析をもとに

研究代表者 筒井孝子 （所属 国立保健医療科学院）
分担研究者 東野定律 （所属 静岡県立大学経営情報学部）
分担研究者 田中彰子 （所属 山梨県立大学看護学部）
研究協力者 大冢賀政昭 （所属 長寿科学振興財団リサーチ・レジデント）

研究目的 これまでの認知症高齢者へのケアについては、認知症特有の精神症状や行動障害であり BPSD（Behavioraland Psychological Symptoms of Dementia）に注目した研究が実施されてきた。

しかしながら、ケアの流れを変えると題された厚生労働省で組織された認知症施策検討プロジェクトチームによる「今後の認知症施策の方向性について」という報告書においては、『在宅での認知症ケアを推進していくために、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の事業所が、その知識・経験・人材等を生かして、地域社会に根ざした認知症ケアの拠点としての活動を推進する必要があるが、現状では十分に機能していない。また、入所者の重度化への対応が十分できていない。』との問題認識が示され、具体的な対応策としては、認知症の人が認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせた介護サービスの整備が掲げられている。

つまり、今後は、これまでのような認知症の BPSD への対処的な対応ではなく、認知症の進行状況や疾患別に、その過程において必要なケアを明らかにし、これに基づいた介護サービス提供体制を整備していく必要があるということと考えられる。

しかしながら、これまでエビデンスに基づいた認知症の進行状況や疾患別に必要なケアについての先行知見は、わが国にはほとんど示されていない。

本研究事業は、エビデンスに基づいた認知症高齢者へのケアや看護技術を明らかにし、これを体系化することを目的としており、入院医療機関におけるケアの実態調査を計画している。

そこで、今年度は、介護保険施設で過去に実施された他計式タイムスタディ調査データの二次分析を実施し、疾患や認知症の程度がわかるアセスメントデータと結合したデータセットを作成の上、提供されていたケア提供の実態を分析し、認知症の進行状況や疾患別に必要なケア、および看護、介護技術の基礎資料を提示することを目的とした。

研究方法 本研究では、平成 23 年 2 月に研究代表者らが実施した提供しているサービスの質が高く、認知症等に関する診断名、治療内容等を的確に把握している施設(グループホー

ム及びユニット型介護老人保健施設)の入居者/入所者を対象として実施されたタイムスタディ調査データの二次分析を行った。

タイムスタディ調査対象となった施設数・高齢者数は、グループホームが 3 施設、介護老人保健施設が 2 施設、合計 5 施設に入所する 45 名であった。

調査対象となった介護保険施設(ユニット型の介護老人保健施設、認知症対象型グループホーム)に入所する高齢者の基本属性、認知機能・問題行動(CDR)、要介護認定基準時間、提供されたケア時間、ケア内容別ケア時間について記述した上で、これらが認知症の疾患別にどのように異なるかについて分析を行った。

なお基本属性、認知機能・問題行動(CDR)の比較には、Kruskal Wallis 検定および Mann-Whitney's U 検定を実施し、要介護認定基準時間およびケア時間の差の比較には、T 検定および一元配置分散分析を行った。

研究結果および考察 認知症疾患と認知機能・BPSD、CDR による重症度については、認知症の疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等との関係を分析した結果、疾患別に有意差が示されたのは、「c . 意欲がなく、新しいことへの興味がない」、「e . 発想が乏しい」、「i . ちょっとしたことでもイライラする」、「m . やさしい計算でも間違える」の 4 項目であった。

さらに、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した結果からは、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」で有意差が示されたのは、上述の 4 項目に加え、「k . 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする」、「r . よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る」、「s . 忍耐力がなく、集中力が低下している」の 3 項目であり、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」で有意差が示されたのは、「i . ちょっとしたことでもイライラする」のみであった。このことから、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうがあてはまる傾向が高く示されていることがわかった。

一方、認知症の CDR の分析結果から疾患別に有意差が示されたのは、「家庭生活および趣味関心」のみであった。さらに、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」で有意差が示されたのは、「見当識」以外の「記憶」、「判断力と問題解決」、「地域社会活動」、「家庭生活および趣味関心」、「介護状況」すべてに有意差が示され、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうが重度の傾向が示されていた。

認知症疾患とケア時間については、合計ケア時間及び大分類別ケア時間の分析結果からは、詳細不明の認知症へのケア提供時間が長かった(ただし、3 名)。

また、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とアルツ

ハイマー型認知症」、その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）の組み合わせに着目し、認知症疾患別にケア内容別ケア提供時間を分析した結果、有意差は、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」の組み合わせの「清潔・整容」、「BPSD への対応」、「洗濯」のみであり、「脳血管性認知症」のほうが有意にケア時間が長いことが明らかになった。

結論 本研究において、介護保険施設入所者を対象として実施された認知症の鑑別診断および認知症に関わる詳細なアセスメント調査とタイムスタディ調査のデータを結合したデータを分析することによって、認知症疾患と認知機能や BPSD あるいは認知症の重症度、そして、認知症疾患とケア提供時間の関連性についての基礎資料が示された。

今後は引き続き、疾患特有の状態像とケア提供の関連について、在宅や医療機関のデータを踏まえて検討し、これによってエビデンスに基づいたケアや看護技術のあり方について検討を進めていく必要がある。

A. 研究目的

これまでの認知症高齢者へのケアについては、認知症特有の精神症状や行動障害であり BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) に注目した研究が実施されてきた。このため、BPSD については、主に問題行動自体の重症度や頻度を測定するスケールが開発されてきた^{1,2}。

また、この BPSD ごとの介護負担がどのように発生するかについては、以下の杉浦(2007)の先行研究の知見が参考になる。

在宅認知症高齢者の問題行動に由来する特有の介護者負担に着目し、従来の介護負担感尺度とは異なる視点から新たに介護負担感 (Caregiver's Burden caused by Behavioral and psychological symptoms of Dementia : CBBBD、以下 CBBBD と略す) を評価する項目を作成し、高齢者の介護者全般を対象にした大規模サンプルを用いて測定した上で、CBBBD の特性を統計学的に明らかにしている³。

認知症の症状と介護負担感つまり CBBBD の関係をみると、CBBBD は全項目にて、認知症高齢者の興奮・妄想的行動と強い関連がみられた。

その他の症状については夜何回も起きる、常時監視の必要性、不潔に嫌悪感はや介護者の記憶障害と、近所に迷惑、非難拒否が辛い、予想不可で怖い・不安という負担

は、認知症高齢者の見当識障害と強い関連がみられた。

さらに、家事が増えた、不潔に嫌悪感があるという負担は、認知症高齢者の異食行動と強い関連が確認されている。

また、タイムスタディ調査という手法を用いて、ケア提供内容や量に係わる客観的なデータを収集し、BPSD の有無別にケア内容がどのように異なるかについて明らかにした先行研究もこれまでに散見される。

2002年に東野が在宅の認知症要介護高齢者に家族介護者が提供したケア内容を把握した研究⁴や2010年に認知症グループホーム入所者に対して BPSD の有無別に介護職員によるケアがどのように異なるかを把握した研究⁵や2014年の大野賀による研究⁶では、在宅要介護高齢者の家族や居宅介護サービス事業者の職員が24時間にどのようなケアをどの程度提供したかを検討しているが、BPSD の有無別にこの特徴を比較した場合、「BPSD への対応」が「深夜」に発生しており、ここで行われていた具体的なケアは、「目が離せない」や「昼夜逆転」といった BPSD が関連していることが明らかにされている。

先行研究で BPSD の既往のある症例は、

⁴東野定律，筒井孝子，大野賀政昭．認知症対応型グループホーム入所高齢者の BPSD 等の状態と提供されるケア内容の関連に関する研究．介護経営 2010;5(1):15-25.を対象に実施した調査

⁵東野定律，筒井孝子．介護保険制度実施後の痴呆性高齢者に対する在宅の家族介護の実態．東京保健科学学会誌 2003;5(4):244-257．

⁶大野賀政昭．在宅生活の継続を支える24時間ケア提供システムに関する研究．立教大学大学院コミュニティ福祉学研究所博士論文,2014年3月

¹ 博野信次．Neuropsychiatric Inventory (NPI)．日本臨牀 2003; 61: 154-158.

² 朝田隆，本間昭，木村通宏ほか：日本語版 BEHAVEAD の信頼性について．老年精神医学雑誌 1999; 10:825-834.

³ 杉浦圭子，伊藤美樹子，三上洋．家族介護者における在宅認知症高齢者の問題行動由来の介護負担の特性．日本老年医学会雑誌.2007;44(6):717-725.

施設入所を断られる事例が多いこと⁷⁾や入所の登録さえもできない状況が報告されている⁸⁾。

これは、BPSD を持つ利用者の受け入れは、介護保険施設では難しいと考えられてきた背景があるがゆえといえ、だからこそ、これまで BPSD に着目した研究が行われてきたともいえる。

しかしながら、ケアの流れを変えると題された厚生労働省で組織された認知症施策検討プロジェクトチームによる「今後の認知症施策の方向性について」という報告書においては、『在宅での認知症ケアを推進していくために、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の事業所が、その知識・経験・人材等を生かして、地域社会に根ざした認知症ケアの拠点としての活動を推進する必要があるが、現状では十分に機能していない。また、入所者の重度化への対応が十分できていない。』との問題認識が示されており、具体的な対応策としては、認知症の人が認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせた介護サービスの整備が掲げられている。

つまり、これまでの認知症の BPSD への対応という視点ではなく、認知症の進行状況や疾患別に必要なケアを明らかにし、これに基づいた介護サービス提供体制を整備

していく必要があるとされている。

しかしながら、これまでエビデンスに基づいた認知症の進行状況や疾患別に必要なケアについての先行知見が提示されていない。

本研究事業では、エビデンスに基づいた認知症高齢者へのケアや看護技術を明らかにし、これを体系化することを目的として、入院医療機関等のケアに関する実態調査を計画しているが、今年度においては、介護保険施設で過去に実施された他計式タイムスタディ調査データの二次分析を実施し、疾患や認知症の程度がわかるアセスメントデータと結合したデータセットを作成の上、提供されていたケア提供実態を分析し、認知症の進行状況や疾患別に必要なケアについての基礎資料を提示することを目的とした。

B．研究方法

1) 調査方法

本研究では、提供しているサービスの質が高く、認知症等に関する診断名、治療内容等を的確に把握している施設(グループホーム及びユニット型介護老人保健施設)の入居者/入所者を対象として平成 23 年 2 月に研究代表者らが実施したタイムスタディ調査データの二次分析を行った。

調査対象は、高齢者状態調査の調査対象者に対して、ケアを提供する可能性のある職員。(医師・薬剤師・事務員・調理師・栄養士・清掃員・実習生・ボランティア等は対象外)調査方法は、他計式 1 分間タイムスタディ調査法で 1 人の調査対象職員に 1 人の調査員がついて計測された(毎分 00 秒の瞬間に、何のケアを、誰に提供しているか

⁷⁾ 鷲見幸彦 . 認知症、運動器疾患等の長寿(老年)医療に関わるネットワーク等社会基盤構築に関する研究 . 長寿医療研究委託事業統括研究報告書 , 国立長寿医療センター : 2008.

⁸⁾ 立教大学 . 小規模多機能型ケアにおける専門職連携の在り方に関する研究報告書 (平成 21 年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業) , 2010

を観察し記録する)。

そして、調査対象高齢者および職員の属性に関するデータが同時に収集された。

高齢者の状態に関しては、要介護認定調査と同じ内容と「身体機能・起居動作に関連する項目」、「生活機能に関連する項目」、「認知機能に関連する項目」、「精神・行動障害に関連する項目」、「社会生活への適応に関連する項目」、「特別な医療についての項目」、「日常生活自立度に関連する項目」で構成された調査項目に加え、「ケア対象者

ID 番号」、「ケア対象者数」、CDR (Clinical Dementia Rating)「認知症に関する診断名」、「薬剤の1日量」などのデータが収集された。

タイムスタディ調査対象となった施設は、グループホームが3施設、介護老人保健施設が2施設、合計5施設であった。施設名はアルファベットで匿名化された。各協力施設の調査対象ユニット数及び高齢者数は、表1の通りである。

表1 調査対象施設数及び施設別調査対象高齢者数

	調査対象ユニット数	調査対象高齢者数
グループホームA	1	9人
グループホームB	1	9人
グループホームC	1	9人
介護老人保健施設D	1	8人
介護老人保健施設E	1	10人
合計	5	45人

2) 分析方法

データの加工について

タイムスタディデータについては、在宅調査用のケアコードを用いて、ケア時間の数量化がなされていたため、T.C.C へのリコード処理を行った。

在宅タイムスタディ調査は、家族による自記入式の時間日記法を採用したため、ストップウォッチ法による調査と比較すると、詳細なケア内容が記述ないという特長があったため、T.C.C へリコードする際に、小分類よりも枠組みが大きい T.C.C 中分類のカテゴリを採用した(T.C.C コード数は表2、

構造は表3を参照)。リコード処理の詳細は、表4のとおりである。)なお、このリコード処理については、研究者や臨床家による確認を依頼した。

これらのリコード処理を経て、共通するケアコード中分類別ケア提供時間およびケア発生割合を在宅および施設データにおいて算出し、その比較を行った。なお、ケア発生割合とは、「タイムスタディ調査の対象となった者のうち、ケアが発生していた者の割合」と定義した。施設の全利用者が複数の職員から、当該ケアが提供されていたかを示す指標となる。

表2 TCCのケアコード数

	ケア内容	中分類
療養上の世話	189	20
専門的看護	78	16
リハビリテーション	72	11
ケアシステム関連	32	10
在宅ケア関連	18	8
総コード数	389	65

表3 ケアコードの構造例（中分類：清潔・整容）

中分類	小分類	ケアコード	ケアの内容
清潔・整容	洗面	1	洗面所までの誘導
		2	洗面動作の指示
		3	洗面一部介助
		4	洗面全介助
		5	必要物品準備
		6	使用物品の後始末
	口腔の清潔維持	7	口腔清潔(歯みがきなど)
		8	うがい
		9	入れ歯の手入れ
		10	口唇の乾燥を防ぐ、痰や唾をティッシュでとる
		11	必要物品準備
		12	使用物品の後始末
	体の清潔維持	13	部分清拭
		14	全身清拭
		15	手指浴・足浴
		16	陰部洗浄、肛門部洗浄(坐浴)
		17	乾布清拭
		18	必要物品準備
		19	使用物品の後始末
	洗髪	20	洗髪一部介助
		21	洗髪全介助
		22	必要物品準備
		23	使用物品の後始末
	整容	24	結髪・整髪(準備・後始末含む)
		25	散髪(準備・後始末含む)
		26	爪切り(準備・後始末含む)
		27	髭剃り(準備・後始末含む)、化粧の指導・実施、入浴後、保湿用クリームを塗る
		28	耳掃除(準備・後始末含む)
	沐浴	29	必要物品準備
		30	使用物品の後始末
	入浴	31	浴室準備、シャワー椅子の準備
		32	浴槽、リフトへの誘導
	入浴時の移乗	33	ストレッチャーから浴槽内リフトへ
		34	浴槽内リフトからストレッチャーへ
		35	ストレッチャーから特殊浴槽へ
		36	特殊浴槽からストレッチャーへ、特殊浴槽(用)ストレッチャーからストレッチャーへの移乗
		37	車椅子から浴槽内リフトへ、椅子から浴槽への移乗介助 *シャワーキャリーは車椅子扱い
		38	浴槽内リフトから車椅子へ、浴槽から椅子への移乗介助
		39	車椅子から特殊浴槽ストレッチャーへの移乗介助
		40	特殊浴槽ストレッチャーから車椅子への移乗介助
		41	浴槽外から浴槽内への移乗介助
		42	浴槽内から浴槽外への移乗介助
		43	抱える、抱き上げる、背負っての移動
	洗身	44	洗身一部介助、入浴後のタオルでの身体拭き
		45	洗身全介助
	監視	46	浴室内の監視
	機械操作	47	リフトの操作、入浴用リフトでの移動の介助
	浴室整備	48	入浴作業終了後の浴室・浴槽の清掃、洗浄

表4 ケアコードのリコード一覧

2007年在宅タイムスタディ調査		T.C.C.中分類(2008年度版)	
c11	入浴	CC1	入浴介助
c12	清拭	CC1	清潔・整容
c13	洗髪	CC1	清潔・整容
c14	洗面・手洗い	CC1	清潔・整容
c15	口腔・耳ケア	CC1	清潔・整容
c16	月経への対処	CC1	清潔・整容
c17	整容	CC1	清潔・整容
c18	更衣	CC2	更衣
c19	その他の入浴	CC18	その他の見守り
c21	敷地内の移動	CC7	移動(施設内)
c22	移乗	CC6	移乗
c23	体位変換	CC5	起居と体位変換
c24	起座	CC5	起居と体位変換
c25	起立	CC5	起居と体位変換
c26	介助用具の着脱	CC8	運動(身体)機能の維持・促進
c29	その他の移動	CC18	その他の見守り
c31	調理	CC51	食事・栄養・補液の介助
c32	配膳・下膳	CC4	食事・栄養・補液の介助
c33	食器洗浄・食器の片づけ	CC51	食事・栄養・補液の介助
c34	摂食	CC4	食事・栄養・補液の介助
c35	水分摂取	CC4	食事・栄養・補液の介助
c39	その他の食事	CC18	その他の見守り
c41	排尿	CC3	排泄
c42	排便及びおむつ・パット介助	CC3	排泄
c49	その他の排泄	CC18	その他の見守り
c51	洗濯	CC17	洗濯
c52	清掃・ごみの処理	CC45	屋内の整理・清掃
c53	整理整頓	CC15	環境
c54	食べ物の管理	CC16	入院・入所者の物品管理
c55	金銭管理	CC16	入院・入所者の物品管理
c56	戸締まり・火の始末・防災	CC44	設備・備品の保守・管理
c57	起床・就寝	CC14	寝具・リネン
c58	その他の日常生活	CC11	コミュニケーション
c59	その他の会話	CC11	コミュニケーション
c50	その他の生活自立支援	CC18	その他の見守り
c61	行事・クラブ活動	CC40	行事・クラブ活動
c62	電話、FAX、E-mail、手紙	CC41	連絡・報告・情報収集
c63	文書作成	CC42	ケア関連会議・記録
c64	来訪者への対応	CC49	その他
c65	外出時の目的地までの移動	CC57	送迎・外出支援
c66	外出時の目的地での行為	CC13	入退院・外出
c67	職能訓練・生産活動	CC37	作業療法
c68	社会生活訓練	CC37	作業療法
c69	社会生活支援のその他	CC37	作業療法
c71	行動上の問題の発生時の対応	CC9	BPSDへの対応
c72	行動上の問題の予防的対応	CC9	BPSDへの対応
c73	行動上の問題の予防的訓練	CC9	BPSDへの対応
c79	その他の行動上の問題	CC9	BPSDへの対応
c81	薬剤の使用	CC21	与薬・薬の塗布
c82	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器 にかかるとる処置	CC22	呼吸器系 / 循環器系の処置
c83	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科 及び手術にかかるとる処置	CC27	運動器 / 感覚器系 / 皮膚の処置
c84	観察・測定・検査	CC10	巡視・観察・測定
c85	指導・助言	CC12	教育
c86	病気の症状への対応	CC212	検査・採取・治療等
c89	その他の医療	CC212	検査・採取・治療等
c91	基本日常生活訓練	CC31	運動器系機能の訓練
c92	応用日常生活訓練	CC32	生活基本動作の拡大
c93	言語・聴覚訓練	CC36	言語療法
c94	スポーツ訓練	CC310	運動器系機能の評価
c95	牽引・温熱・電気療法	CC33	物理療法
c99	その他の機能訓練	CC38	その他のリハ関連
c101	対象者に関する間接業務	CC41	連絡・報告・情報収集
c102	職員に関する間接業務	CC48	職員の行動
c109	その他の間接業務	CC49	その他のケアシステム関連

分析方法について

調査対象となった介護保険施設（ユニット型の介護老人保健施設、認知症対象型グループホーム）に入所する高齢者の基本属性、認知機能・問題行動（CDR）、要介護認定基準時間、提供されたケア時間、ケア内容別ケア時間について記述した上で、これらが認知症の疾患別にどのように異なるかについて分析を行った。基本属性、認知機能・問題行動（CDR）の比較には、Kruskal Wallis検定およびMann-Whitney's U検定を実施し、要介護認定基準時間およびケア時間の差の比較には、T検定および一元配置分散分析を行った。

（倫理面への配慮）

本研究で扱った調査については、国立保健医療科学院に設置される研究倫理審査委員会の承認を得てから調査が実施された（審査番号 NIPH-IBRA#11019）。

調査実施に際しては、対象者が不利益や心身の負担を被ったりすることがないように、また、その人権が侵害されたりする恐れはないよう、対象者への研究参加の説明と同意の手続きを行った。調査データの利用お

よび加工にあたっては、個人情報が入名化されたデータのみを取り扱っている。

C . 研究結果

1) 調査対象者の基本属性

年齢は、平均 83.5 歳、標準偏差 8.3 であった。性別は、男性 10 名（22.2%）、女性 35 名（11.1%）であった。

要介護度は、「要介護 3」が 13 名で 28.9%、「要介護 2」が 12 名で 26.7%、「要介護 4」が 8 名で 17.8%、「要介護 5」が 6 名で 13.3%、「要介護 1」が 5 名で 11.1%、「要支援 1」が 1 名で 2.2%であった。

障害高齢者の日常生活自立度は、A1 が 18 名(40.0%)、A2 が 12 名で 26.7%、B28 名（17.8%）であった。B 以上は 15 名で 33.3%であった。

認知症高齢者の日常生活自立度は、以上は、39 名（86.7%）であった。

認知症診断の状況は、「脳血管性認知症」が 22 名で 48.9%、「その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」が 11 名で 24.4%、「アルツハイマー型認知症」が 5 名で 11.1%、「なし」が 4 名で 8.9%であった。

表5 調査対象者の基本属性

	平均値	標準偏差
年齢	83.5	8.3
	N	%
性別		
男性	10	22.2
女性	35	77.8
要介護度		
要支援1	1	2.2
要介護1	5	11.1
要介護2	12	26.7
要介護3	13	28.9
要介護4	8	17.8
要介護5	6	13.3
要介護3以上（再掲）	27	60.0
障害高齢者日常生活自立度		
A1	18	40.0
A2	12	26.7
B1	5	11.1
B2	8	17.8
C1	1	2.2
C2	1	2.2
B以上	15	33.3
認知症高齢者日常生活自立度		
自立	1	2.2
a	4	8.9
b	2	4.4
a	7	15.6
b	13	28.9
a	3	6.7
b	13	28.9
M	1	2.2
欠損値	1	2.2
以上（再掲）	39	86.7
認知症診断名		
なし	4	8.9
脳血管性認知症	22	48.9
アルツハイマー型認知症	5	11.1
その他の認知症 （前頭側頭型、レビー小体型）	11	24.4
詳細不明の認知症	3	6.7

表 6 認知症の疾患別・調査対象者の基本属性

	なし (N=4)		脳血管性認知症 (N=22)		アルツハイマー型認知症 (N=5)		その他の認知症 (前頭側頭型、レビー小体型) (N=11)		詳細不明の認知症 (N=3)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
年齢	88.3	3.9	84.0	6.7	77.8	12.5	82.9	10.0	85.0	7.0
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
性別										
男性			4	18.2	1	20.0	4	36.4	1	33.3
女性	4	100.0	18	81.8	4	80.0	7	63.6	2	66.7
要介護度										
要支援 1							1	9.1		
要介護 1	1	25.0	2	9.1			2	18.2		
要介護 2	3	75.0	6	27.3	2	40.0	1	9.1		
要介護 3			7	31.8	2	40.0	3	27.3	1	33.3
要介護 4			5	22.7			2	18.2	1	33.3
要介護 5			2	9.1	1	20.0	2	18.2	1	33.3
障害高齢者の日常生活自立度										
A1	2	50.0	12	54.5	1	20.0	3	27.3		
A2	2	50.0	4	18.2	2	40.0	3	27.3	1	33.3
B1			4	18.2			1	9.1		
B2			2	9.1	1	20.0	4	36.4	1	33.3
C1									1	33.3
C2					1	20.0				
認知症高齢者の日常生活自立度										
自立					1	20.0	1	9.1		
a	1	25.0	1	4.5	2	40.0				
b	2	50.0	3	13.6			1	9.1	1	33.3
a	1	25.0	7	31.8	1	20.0	2	18.2	2	66.7
b			2	9.1			1	9.1		
			7	31.8			6	54.5		
M					1	20.0				

表 7 認知症の疾患別・調査対象者の基本属性の検定結果

(一元配置分散分析、Kruskal Wallis 検定結果)

	F値	自由度	P値
年齢	1.0	4	0.43
	カイ 2 乗	自由度	P値
性別	2.8	4	0.59
要介護度	6.3	4	0.18
障害高齢者の日常生活自立度	8.1	4	0.09
認知症高齢者の日常生活自立度	7.0	4	0.13

2) 調査対象者の認知機能・問題行動等

調査対象者の認知機能・問題行動等について、「あてはまる」傾向がもっとも高かったのは、「n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない」66.7%であった。

続いて、「q. 新しい歌やゲームが覚えられない」46.7%、「a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う」42.2%、「e. 発想が乏しい」42.2%、「g. 動作がのろくなっている」42.2%、「s. 忍耐力がなく、集中力が低下している」40.0%、と続き、40%台であった。

30%台であったのは、「m. やさしい計算でも間違える」35.6%、「c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い」33.3%、「t. 自発性に乏しく、他人に頼りがちである」33.3%、「f. 身だしなみを気にしない」31.1%であった。

20%台であったのは、「d. ごく簡単なこ

とでも理解できない」28.9%、「k. 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする」26.7%であった。

10%台であったのは、「i. ちょっとしたことでもイライラする」22.2%、「b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う」17.8%、「l. 不潔、清潔の区分がつかず、わざと汚したりする」17.8%、「r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る」17.8%、「h. 食べ物でもないものを食べようとする」13.3%

10%未満であったのは、「o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する」8.9%、「u. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻覚がある」8.9%、「p. 時々、死にたいと言う」6.7%、「j. 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある」4.4%であった。

表 8 調査対象者の認知機能・問題行動等

認知機能・問題行動等	あてはまる		すこし傾向がある		あてはまらない	
	N	%	N	%	N	%
a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う	19.0	42.2	17.0	37.8	9.0	20.0
b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う	8.0	17.8	7.0	15.6	30.0	66.7
c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い	15.0	33.3	19.0	42.2	11.0	24.4
d. ごく簡単なことでも理解できない	13.0	28.9	15.0	33.3	17.0	37.8
e. 発想が乏しい	19.0	42.2	9.0	20.0	17.0	37.8
f. 身だしなみを気にしない	14.0	31.1	14.0	31.1	17.0	37.8
g. 動作がのろくなっている	19.0	42.2	11.0	24.4	15.0	33.3
h. 食べ物でもないものを食べようとする	6.0	13.3	4.0	8.9	35.0	77.8
i. ちょっとしたことでもイライラする	10.0	22.2	15.0	33.3	20.0	44.4
j. 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある	2.0	4.4	0.0	0.0	43.0	95.6
k. 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする	12.0	26.7	9.0	20.0	24.0	53.3
l. 不潔、清潔の区分がつかず、わざと汚したりする	8.0	17.8	6.0	13.3	31.0	68.9
m. やさしい計算でも間違える	16.0	35.6	16.0	35.6	13.0	28.9
n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない	30.0	66.7	10.0	22.2	5.0	11.1
o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する	4.0	8.9	6.0	13.3	35.0	77.8
p. 時々、死にたいと言う	3.0	6.7	5.0	11.1	37.0	82.2
q. 新しい歌やゲームが覚えられない	21.0	46.7	17.0	37.8	7.0	15.6
r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る	8.0	17.8	10.0	22.2	27.0	60.0
s. 忍耐力がなく、集中力が低下している	18.0	40.0	11.0	24.4	16.0	35.6
t. 自発性に乏しく、他人に頼りがちである	15.0	33.3	18.0	40.0	12.0	26.7
u. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻覚がある	4.0	8.9	5.0	11.1	36.0	80.0

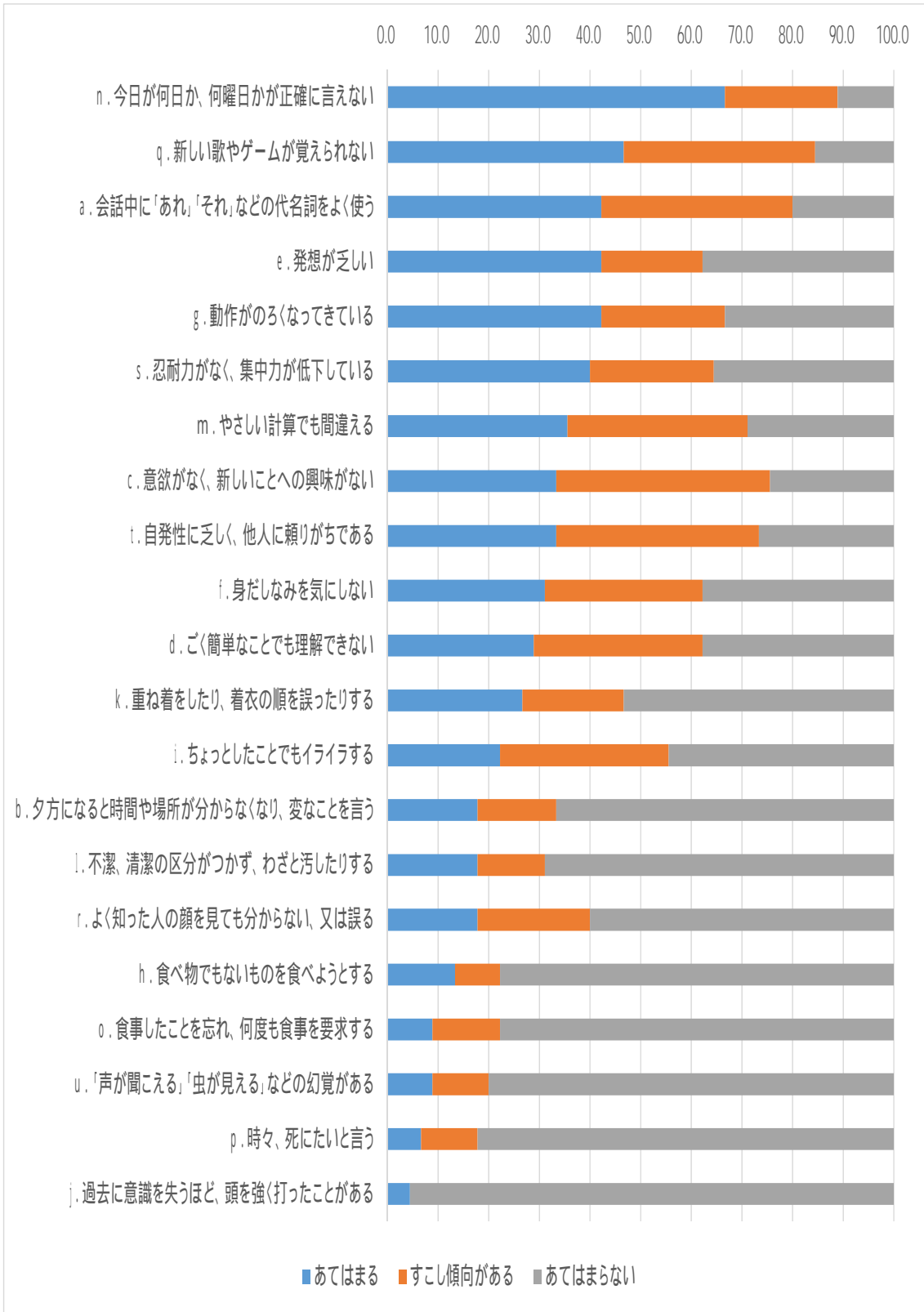


図 1 調査対象者の認知機能・問題行動等（あてはまる降順）

認知症の疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等をみると、疾患別に有意差が示されたのは、「c . 意欲がなく、新しいことへの興味がない」、「e . 発想が乏しい」、「i . ちょっとしたことでもイライラする」、「m . やさしい計算でも間違える」の四つの項目であった。

さらに、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認

知症」で有意差が示されたのは、上述の四つに加え、「k . 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする」、「r . よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る」、「s . 忍耐力がなく、集中力が低下している」の三つであり、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」で有意差が示されたのは、「i . ちょっとしたことでもイライラする」のみであり、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうがあてはまる傾向が高く示されていた。

表9 認知症の疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等

	なし (N=4)		脳血管性認知症 (N=22)		アルツハイマー型認知症 (N=5)		その他の認知症 (前頭側頭型、レビー小体型) (N=11)		詳細不明の認知症 (N=3)	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う										
あてはまる	1	25.0	10	45.5	1	20.0	7	63.6		
少し傾向がある	3	75.0	8	36.4	2	40.0	3	27.3	1	33.3
b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う										
あてはまる			5	22.7			3	27.3		
少し傾向がある			4	18.2	1	20.0	2	18.2		
あてはまらない	4	100.0	13	59.1	4	80.0	6	54.5	3	100.0
c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い										
あてはまる			10	45.5			3	27.3	2	66.7
少し傾向がある	2	50.0	8	36.4	1	20.0	8	72.7		
あてはまらない	2	50.0	4	18.2	4	80.0			1	33.3
d. ごく簡単なことでも理解できない										
あてはまる	1	25.0	8	36.4	1	20.0	3	27.3		
少し傾向がある			8	36.4	1	20.0	5	45.5	1	33.3
あてはまらない	3	75.0	6	27.3	3	60.0	3	27.3	2	66.7
e. 発想が乏しい										
あてはまる	1	25.0	10	45.5			6	54.5	2	66.7
少し傾向がある			6	27.3			3	27.3		
あてはまらない	3	75.0	6	27.3	5	100.0	2	18.2	1	33.3
f. 身だしなみを気にしない										
あてはまる			6	27.3	1	20.0	6	54.5	1	33.3
少し傾向がある	1	25.0	10	45.5			3	27.3		
あてはまらない	3	75.0	6	27.3	4	80.0	2	18.2	2	66.7
g. 動作がのろくなってきている										
あてはまる	1	25.0	10	45.5	1	20.0	5	45.5	2	66.7
少し傾向がある	1	25.0	4	18.2	1	20.0	4	36.4	1	33.3
あてはまらない	2	50.0	8	36.4	3	60.0	2	18.2		
h. 食べ物でもないものを食べようとする										
あてはまる			6	27.3						
少し傾向がある			3	13.6			1	9.1		
あてはまらない	4	100.0	13	59.1	5	100.0	10	90.9	3	100.0
i. ちょっとしたことでモライラする										
あてはまる	1	25.0	7	31.8			2	18.2		
少し傾向がある	1	25.0	11	50.0	1	20.0	2	18.2		
あてはまらない	2	50.0	4	18.2	4	80.0	7	63.6	3	100.0
j. 過去に意欲を失うほど、頭を強く打ったことがある										
あてはまる			1	4.5			1	9.1		
あてはまらない	4	100.0	21	95.5	5	100.0	10	90.9	3	100.0
k. 履ね着をしたり、替衣の履き替りをする										
あてはまる	1	25.0	8	36.4			2	18.2	1	33.3
少し傾向がある	1	25.0	3	13.6			5	45.5		
あてはまらない	2	50.0	11	50.0	5	100.0	4	36.4	2	66.7
l. 不潔、清潔の区別がつかず、わざと汚したりする										
あてはまる			4	18.2			3	27.3	1	33.3
少し傾向がある			5	22.7			1	9.1		
あてはまらない	4	100.0	13	59.1	5	100.0	7	63.6	2	66.7
m. やさしい計算でも間違える										
あてはまる	2	50.0	9	40.9			3	27.3	2	66.7
少し傾向がある			9	40.9			7	63.6		
あてはまらない	2	50.0	4	18.2	5	100.0	1	9.1	1	33.3
n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない										
あてはまる	2	50.0	15	68.2	2	40.0	9	81.8	2	66.7
少し傾向がある	1	25.0	6	27.3			2	18.2	1	33.3
あてはまらない	1	25.0	1	4.5	3	60.0				
o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する										
あてはまる			2	9.1			2	18.2		
少し傾向がある			5	22.7			1	9.1		
あてはまらない	4	100.0	15	68.2	5	100.0	8	72.7	3	100.0
p. 時々、死にたいと言う										
あてはまる			2	9.1	1	20.0				
少し傾向がある	1	25.0			1	20.0	2	18.2	1	33.3
あてはまらない	3	75.0	20	90.9	3	60.0	9	81.8	2	66.7
q. 新しい歌やゲームが覚えられない										
あてはまる	1	25.0	11	50.0	2	40.0	5	45.5	2	66.7
少し傾向がある	1	25.0	10	45.5			5	45.5	1	33.3
あてはまらない	2	50.0	1	4.5	3	60.0	1	9.1		
r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る										
あてはまる	1	25.0	6	27.3			1	9.1		
少し傾向がある			6	27.3			4	36.4		
あてはまらない	3	75.0	10	45.5	5	100.0	6	54.5	3	100.0
s. 忍耐力がなく、集中力が低下している										
あてはまる	2	50.0	9	40.9			5	45.5	2	66.7
少し傾向がある			8	36.4			3	27.3		
あてはまらない	2	50.0	5	22.7	5	100.0	3	27.3	1	33.3
t. 自覚性に乏しく、他人に頼りがちである										
あてはまる	1	25.0	9	40.9	1	20.0	2	18.2	2	66.7
少し傾向がある	2	50.0	8	36.4			8	72.7		
あてはまらない	1	25.0	5	22.7	4	80.0	1	9.1	1	33.3
u. 「声がかえる」「虫が見える」などの幻覚がある										
あてはまる			2	9.1			2	18.2		
少し傾向がある			2	9.1			3	27.3		
あてはまらない	4	100.0	18	81.8	5	100.0	6	54.5	3	100.0

表 10 認知症疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等 (Kruskal Wallis 検定結果)

	カイ 2 乗	自由度	P値
a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う	7.4	4	0.12
b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う	5.3	4	0.26
c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い	11.1	4	0.03 *
d. ごく簡単なことでも理解できない	4.6	4	0.34
e. 発想が乏しい	10.2	4	0.04 *
f. 身だしなみを気にしない	8.2	4	0.08
g. 動作がのろくなってきている	3.8	4	0.43
h. 食べ物でもないものを食べようとする	9.1	4	0.06
i. ちょっとしたことでもイライラする	11.9	4	0.02 *
j. 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある	1.1	4	0.90
k. 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする	4.6	4	0.33
l. 不潔、清潔の区分がつかず、わざと汚したりする	4.8	4	0.31
m. やさしい計算でも間違える	9.8	4	0.04 *
n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない	5.5	4	0.24
o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する	4.5	4	0.34
p. 時々、死にたいと言う	3.1	4	0.55
q. 新しい歌やゲームが覚えられない	4.6	4	0.33
r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る	7.1	4	0.13
s. 忍耐力がなく、集中力が低下している	8.1	4	0.09
t. 自発性に乏しく、他人に頼りがちである	4.4	4	0.36
u. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻覚がある	7.1	4	0.13

表 11 脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症の調査対象者の認知機能・問題行動等 (Mann-Whitney 検定結果)

	U	P値
a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う	37.0	0.23
b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う	41.0	0.31
c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い	16.0	0.01 *
d. ごく簡単なことでも理解できない	37.0	0.23
e. 発想が乏しい	15.0	0.01 **
f. 身だしなみを気にしない	31.0	0.11
g. 動作がのろくなってきている	39.0	0.28
h. 食べ物でもないものを食べようとする	32.5	0.09
i. ちょっとしたことでもイライラする	17.5	0.01 *
j. 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある	52.5	0.63
k. 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする	27.5	0.05 *
l. 不潔、清潔の区分がつかず、わざと汚したりする	32.5	0.09
m. やさしい計算でも間違える	10.0	0.00 **
n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない	30.5	0.07
o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する	37.5	0.15
p. 時々、死にたいと言う	39.0	0.11
q. 新しい歌やゲームが覚えられない	34.5	0.16
r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る	25.0	0.04 *
s. 忍耐力がなく、集中力が低下している	12.5	0.00 **
t. 自発性に乏しく、他人に頼りがちである	27.5	0.07
u. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻覚がある	45.0	0.31

表 12 脳血管性認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）の認知機能・問題行動等（Mann-Whitney 検定結果）

	U	P値
a. 会話中に「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う	97.0	0.31
b. 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う	114.5	0.78
c. 意欲がなく、新しいことへの興味が無い	115.0	0.80
d. ごく簡単なことでも理解できない	113.0	0.74
e. 発想が乏しい	107.0	0.56
f. 身だしなみを気にしない	89.0	0.19
g. 動作がのろくなってきている	109.0	0.62
h. 食べ物でもないものを食べようとする	79.5	0.05
i. ちょっとしたことでもイライラする	70.0	0.04 *
j. 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある	115.5	0.61
k. 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする	120.5	0.98
l. 不潔、清潔の区別がつかず、わざと汚したりする	121.0	1.00
m. やさしい計算でも間違える	114.0	0.77
n. 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない	103.5	0.39
o. 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する	119.5	0.94
p. 時々、死にたいと言う	112.0	0.54
q. 新しい歌やゲームが覚えられない	113.0	0.73
r. よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る	101.0	0.41
s. 忍耐力がなく、集中力が低下している	120.0	0.97
t. 自発性に乏しく、他人に頼りがちである	109.5	0.63
u. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻覚がある	89.0	0.12

調査対象者の CDR の下位項目の評価の状況を見てみると、「なし・疑い」がもっとも低かったのは「介護状況」4.4%であり、その後「地域社会活動」11.1%、「判断力と問題解決」11.0%、「家庭生活および趣味・

関心」20.0%、「記憶」24.4%、「見当識」24.4%と続いた。

ただし、「判断力と問題解決」は、次の「軽度・中等度」が 86.7%を占めており、これが「ない・軽度」、「重度」でない集団であるのが今回の調査対象者の特徴であった。

表 11 調査対象者の CDR

	なし		疑い		軽度		中等度		重度	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
記憶	4.0	8.9	7.0	15.6	10.0	22.2	13.0	28.9	11.0	24.4
見当識	6.0	13.3	5.0	11.1	9.0	20.0	13.0	28.9	12.0	26.7
判断力と問題解決	3.0	6.6	2.0	4.4	13.0	28.9	26.0	57.8	1.0	2.2
地域社会活動	2.0	4.4	3.0	6.7	5.0	11.1	13.0	28.9	22.0	48.9
家庭生活および趣味・関心	3.0	6.7	6.0	13.3	6.0	13.3	18.0	40.0	12.0	26.7
介護状況	2.0	4.4	0.0	0.0	8.0	17.8	21.0	46.7	14.0	31.1

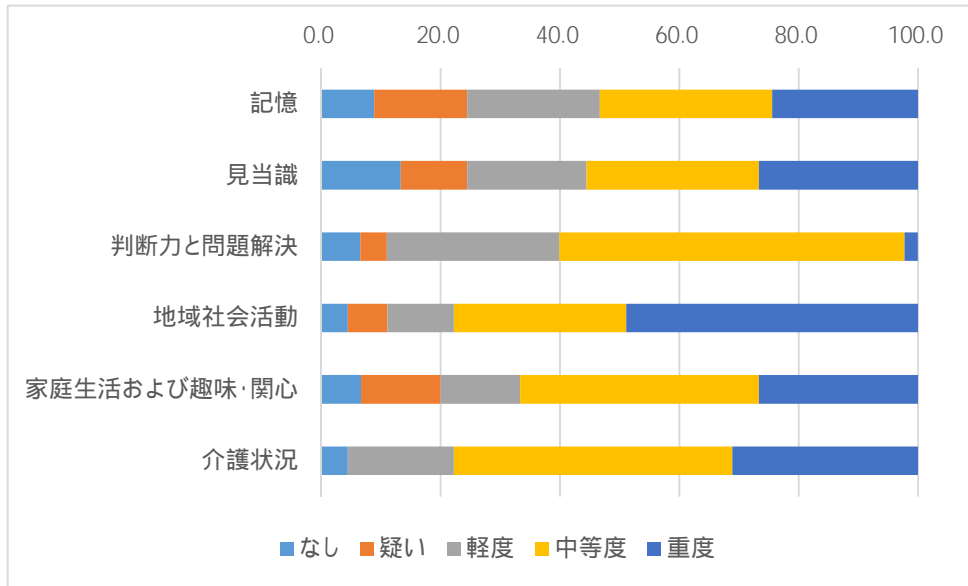


図2 調査対象者の CDR

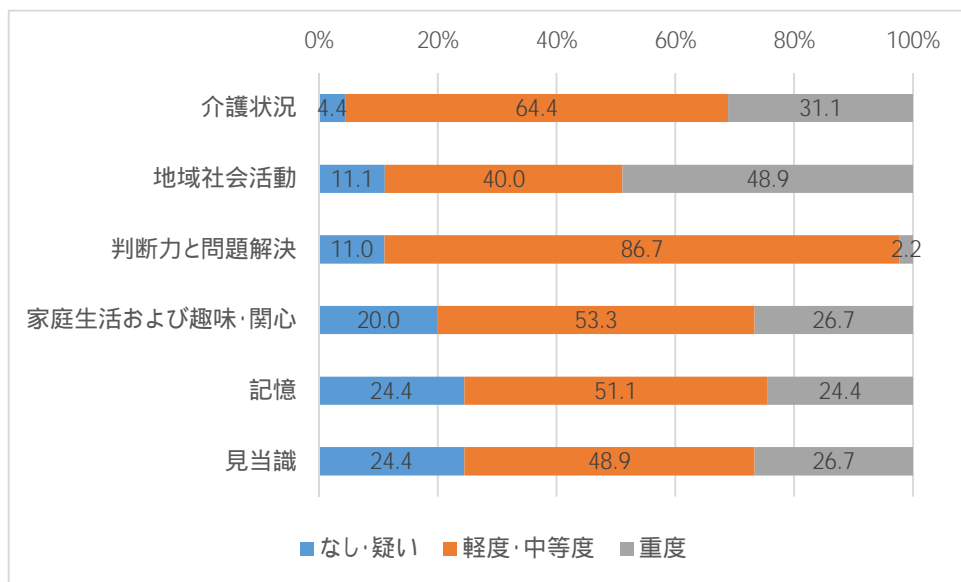


図3 調査対象者の CDR (「なし・疑い」降順)

認知症の CDR をみてみると、疾患別に有意差が示されたのは、「家庭生活および趣味関心」のみであった。

さらに、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」で有意差が示されたのは、「見当識」

以外の、「記憶」、「判断力と問題解決」、「地域社会活動」、「家庭生活および趣味関心」、「介護状況」すべてに有意差が示され、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうが重度の傾向が示されていた。

一方、「脳血管性認知症とその他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)」ではいずれの項目にも有意差は示されなかった。

表 13 認知症疾患別・調査対象者の CDR

	なし (N=4)		脳血管性認知症 (N=22)		アルツハイマー型認知症 (N=5)		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型) (N=11)		詳細不明の認知症 (N=3)	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
記憶										
疑い	2	50.0	3	13.6			2	18.2		
軽度			4	18.2	1	20.0	4	36.4	1	33.3
中等度			9	40.9			4	36.4		
重度	1	25.0	6	27.3	1	20.0	1	9.1	2	66.7
見当識										
なし	2	50.0			3	60.0	1	9.1		
疑い	1	25.0	3	13.6					1	33.3
軽度			6	27.3	1	20.0	2	18.2		
中等度			7	31.8			6	54.5		
重度	1	25.0	6	27.3	1	20.0	2	18.2	2	66.7
判断力と問題解決										
なし					2	40.0				
疑い			2	9.0	1	20.0				
軽度	3	75.0	6	27.3	1	20.0	2	18.2	1	33.3
中等度	1	25.0	13	59.1	1	20.0	9	81.8	2	66.7
重度			1	4.5						
地域社会活動										
なし					2	40.0				
疑い			2	9.1	1	20.0				
軽度	2	50.0	1	4.5	1	20.0			1	33.3
中等度			8	36.4			5	45.5		
重度	2	50.0	11	50.0	1	20.0	6	54.5	2	66.7
家庭生活および趣味関心										
なし					3	60.0				
疑い	2	50.0	3	13.6	1	20.0				
軽度			4	18.2			1	9.1	1	33.3
中等度	2	50.0	10	45.5			6	54.5		
重度			5	22.7	1	20.0	4	36.4	2	66.7
介護状況										
なし					2	40.0				
軽度	2	50.0	3	13.6	2	40.0	1	9.1		
中等度	1	25.0	14	63.6			5	45.5	1	33.3
重度	1	25.0	5	22.7	1	20.0	5	45.5	2	66.7

表 14 認知症の疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等 (Kruskal Wallis 検定結果)

	カイ 2 乗	自由度	P値
記憶	4	8.3	0.08
見当識	4	6.5	0.16
判断力と問題解決	4	9.1	0.06
地域社会活動	4	7.2	0.13
家庭生活および趣味関心	4	10.0	0.04 *
介護状況	4	9.0	0.06

表 15 脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症の調査対象者の認知機能・問題行動等
(Mann-Whitney 検定結果)

	U	P値
記憶	24.0	0.046 *
見当識	25.0	0.05
判断力と問題解決	23.0	0.03 *
地域社会活動	20.0	0.02 *
家庭生活および趣味関心	21.0	0.03 *
介護状況	22.5	0.03 *

表 16 脳血管性認知症とその他の認知症 (前頭側頭型、レビー小体型) の認知機能・問題行動等 (Mann-Whitney 検定結果)

	U	P値
記憶	88.0	0.19
見当識	117.0	0.87
判断力と問題解決	101.5	0.37
地域社会活動	108.0	0.58
家庭生活および趣味関心	87.0	0.16
介護状況	93.0	0.23

3) 要介護認定基準時間

要介護認定の一次判定ロジックで推計される「要介護認定等基準時間」については、平均 78.0 分（標準偏差 28.6）であった。

また、項目別推計時間の平均値は「食事」

11.9 分、「排泄」11.8 分、「移動」10.1 分、「清潔保持」10.8 分、「BPSD 関連」9.7 分、「間接」8.1 分、「医療関連」6.5 分、「機能訓練」4.2 分、「認知症加算」4.8 分と示された。

表 17 調査対象者の要介護認定基準時間

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
要介護認定等基準時間	78.0	28.6	28.6	140.1	45
項目別					
食事	11.9	11.0	1.1	65.9	45
排泄	11.8	9.3	0.2	25.9	45
移動	10.1	6.1	0.4	20.5	45
清潔保持	10.8	5.6	1.2	23.1	45
間接	8.1	3.2	0.4	11.3	45
BPSD関連	9.7	4.7	5.8	21.2	45
機能訓練	4.2	3.1	0.5	10.5	45
医療関連	6.5	7.1	1.0	41.1	45
認知症加算	4.8	11.3	0.0	40.0	45

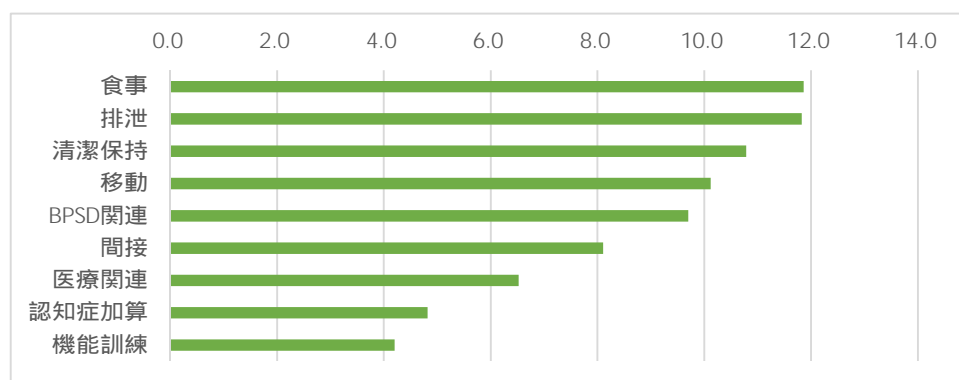


図 4 調査対象者の要介護認定基準時間 (降順)

認知症疾患別に分析したところ、要介護認定基準時間に、有意差がみられた組み合わせは、「なしとその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」の組み合わせのみであり、「その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」のほうが有意に長かった。

項目別に見てみると、間接の「脳血管性認知症と詳細不明の認知症」では、「脳血管性認知症」が有意に長く、「アルツハイマー

型認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」では、「その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」有意に長かった。

BPSD 関連では、「なしと脳血管性認知症」、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」、「脳血管性認知症と詳細不明の認知症」の 3 種類の組み合わせであり、いずれも脳血管性認知症のほうが有意に長かった。

表 18 認知症疾患別・要介護認定等基準時間

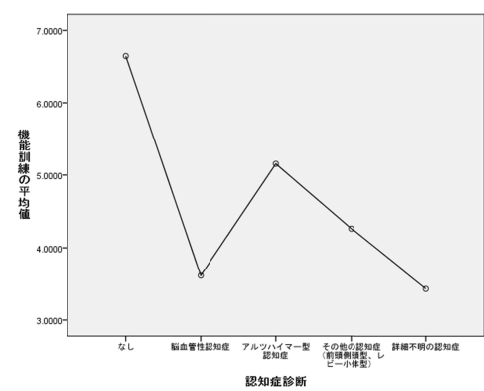
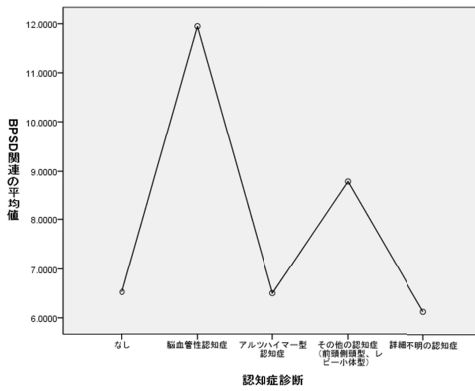
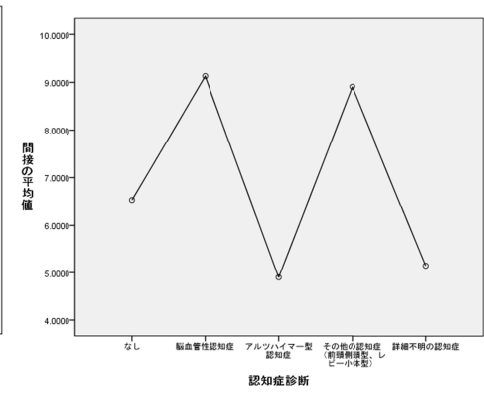
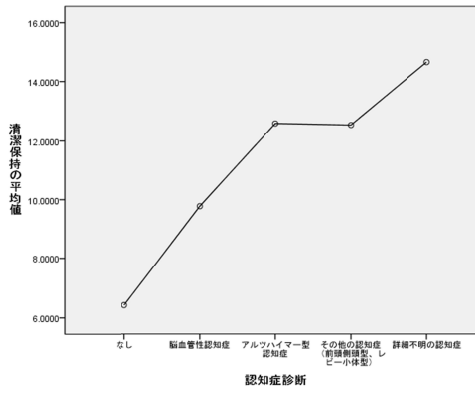
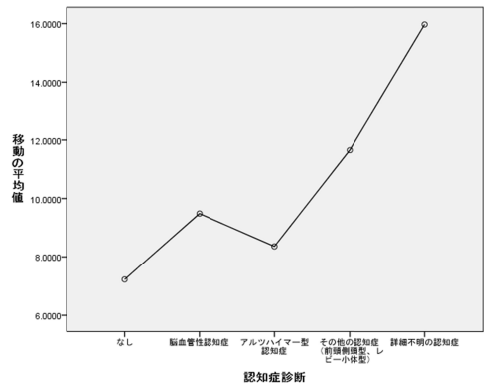
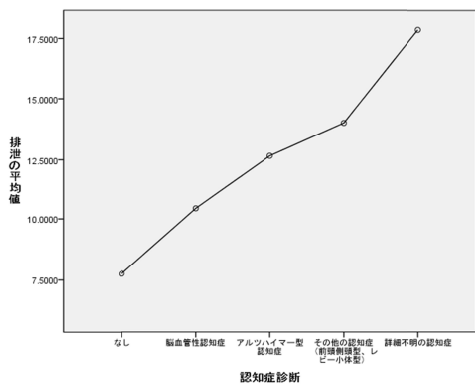
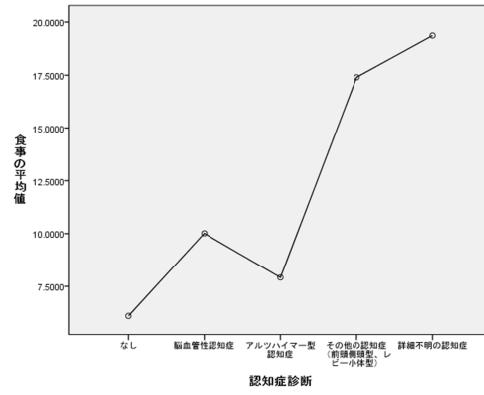
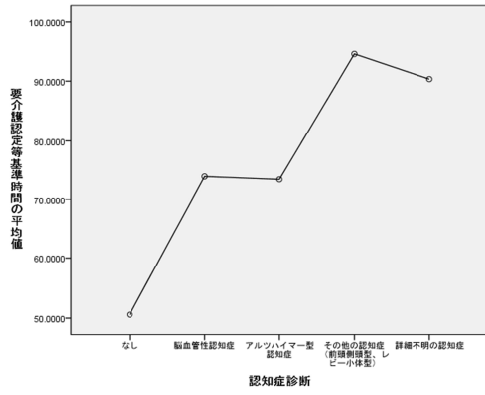
		平均値	標準偏差	標準誤差	最小値	最大値	N
要介護認定等基準時間	なし	50.6	24.7	12.4	30.5	85.3	4
	脳血管性認知症	73.9	25.7	5.5	28.6	119.4	22
	アルツハイマー型認知症	73.4	28.0	12.5	34.3	99.5	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	94.7	29.0	8.7	41.0	140.1	11
	詳細不明の認知症	90.4	30.5	17.6	55.2	110.0	3
	合計	78.0	28.6	4.3	28.6	140.1	45
食事	なし	6.1	3.3	1.6	3.4	10.1	4
	脳血管性認知症	10.0	6.4	1.4	3.4	34.2	22
	アルツハイマー型認知症	7.9	8.4	3.7	1.1	21.6	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	17.4	17.8	5.4	6.8	65.9	11
	詳細不明の認知症	19.4	10.3	5.9	7.5	25.3	3
	合計	11.9	11.0	1.6	1.1	65.9	45
排泄	なし	7.8	9.2	4.6	0.2	20.5	4
	脳血管性認知症	10.5	8.9	1.9	0.2	24.1	22
	アルツハイマー型認知症	12.6	9.6	4.3	2.0	22.1	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	14.0	10.8	3.2	2.9	25.9	11
	詳細不明の認知症	17.9	5.5	3.1	11.6	21.5	3
	合計	11.8	9.3	1.4	0.2	25.9	45
移動	なし	7.2	6.2	3.1	0.4	14.2	4
	脳血管性認知症	9.5	6.3	1.3	0.4	20.5	22
	アルツハイマー型認知症	8.4	4.4	2.0	4.1	14.6	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	11.7	6.1	1.8	4.1	19.1	11
	詳細不明の認知症	16.0	5.3	3.0	10.2	20.5	3
	合計	10.1	6.1	0.9	0.4	20.5	45
清潔保持	なし	6.4	3.9	2.0	1.2	10.5	4
	脳血管性認知症	9.8	4.6	1.0	1.2	17.5	22
	アルツハイマー型認知症	12.6	5.2	2.3	6.0	17.7	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	12.5	7.0	2.1	1.2	23.1	11
	詳細不明の認知症	14.7	6.3	3.6	8.0	20.4	3
	合計	10.8	5.6	0.8	1.2	23.1	45
間接	なし	6.5	3.7	1.8	2.7	10.9	4
	脳血管性認知症	9.1	2.3	0.5	3.2	10.9	22
	アルツハイマー型認知症	4.9	4.3	1.9	0.4	10.9	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	8.9	3.3	1.0	1.7	11.3	11
	詳細不明の認知症	5.1	1.0	0.6	4.5	6.3	3
	合計	8.1	3.2	0.5	0.4	11.3	45
BPSD関連	なし	6.5	0.7	0.4	5.8	7.5	4
	脳血管性認知症	12.0	5.6	1.2	6.4	21.2	22
	アルツハイマー型認知症	6.5	1.4	0.6	5.8	9.0	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	8.8	2.1	0.6	6.2	10.8	11
	詳細不明の認知症	6.1	0.1	0.0	6.1	6.2	3
	合計	9.7	4.7	0.7	5.8	21.2	45
機能訓練	なし	6.7	2.8	1.4	4.5	10.5	4
	脳血管性認知症	3.6	3.2	0.7	0.5	10.4	22
	アルツハイマー型認知症	5.2	1.9	0.8	2.5	7.1	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	4.3	3.2	1.0	0.5	10.4	11
	詳細不明の認知症	3.4	3.9	2.2	0.5	7.8	3
	合計	4.2	3.1	0.5	0.5	10.5	45
医療関連	なし	3.4	2.2	1.1	1.8	6.6	4
	脳血管性認知症	5.0	3.7	0.8	1.0	16.9	22
	アルツハイマー型認知症	11.6	16.6	7.4	2.0	41.1	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	8.0	7.0	2.1	2.6	27.8	11
	詳細不明の認知症	7.8	6.5	3.7	3.0	15.2	3
	合計	6.5	7.1	1.1	1.0	41.1	45
認知症加算	なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
	脳血管性認知症	4.5	10.3	2.2	0.0	39.0	22
	アルツハイマー型認知症	3.8	8.5	3.8	0.0	19.0	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	9.1	16.4	4.9	0.0	40.0	11
	詳細不明の認知症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	合計	4.8	11.3	1.7	0.0	40.0	45

表 19 認知症疾患別・要介護認定基準時間(1)(一元配置分散分析、最小有意差分析)

			平均値の			
			差	標準誤差	P値	
要介護認定 基準時間	なし	脳血管性認知症	-23.3	14.7	0.12	
	なし	アルツハイマー型認知症	-22.8	18.1	0.21	
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-44.1	15.8	0.01 *	
	なし	詳細不明の認知症	-39.8	20.6	0.06	
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	0.5	13.4	0.97	
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-20.7	10.0	0.04	
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-16.5	16.6	0.33	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-21.2	14.6	0.15	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	-17.0	19.7	0.39	
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	詳細不明の認知症	4.3	17.6	0.81	
	なし	脳血管性認知症	-3.9	5.8	0.50	
	なし	アルツハイマー型認知症	-1.8	7.1	0.80	
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-11.3	6.2	0.08	
	なし	詳細不明の認知症	-13.3	8.1	0.11	
	排泄	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	2.1	5.3	0.69
		脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-7.4	3.9	0.07
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	-9.4	6.6	0.16	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-9.5	5.7	0.11	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	-11.4	7.8	0.15	
その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)		詳細不明の認知症	-2.0	6.9	0.78	
なし		脳血管性認知症	-2.7	5.1	0.60	
なし		アルツハイマー型認知症	-4.9	6.3	0.44	
なし		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-6.3	5.5	0.26	
なし		詳細不明の認知症	-10.1	7.1	0.16	
脳血管性認知症		アルツハイマー型認知症	-2.2	4.6	0.64	
脳血管性認知症		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-3.5	3.5	0.31	
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	-7.4	5.8	0.21	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-1.4	5.0	0.79	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	-5.2	6.8	0.45	
その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)		詳細不明の認知症	-3.9	6.1	0.53	
移動	なし	脳血管性認知症	-2.3	3.3	0.49	
	なし	アルツハイマー型認知症	-1.1	4.0	0.78	
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-4.4	3.5	0.22	
	なし	詳細不明の認知症	-8.7	4.6	0.06	
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	1.1	3.0	0.71	
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-2.2	2.2	0.34	
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-6.5	3.7	0.09	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-3.3	3.3	0.32	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	-7.6	4.4	0.09	
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	詳細不明の認知症	-4.3	3.9	0.28	
	清潔保持	なし	脳血管性認知症	-3.4	2.9	0.26
		なし	アルツハイマー型認知症	-6.2	3.6	0.10
		なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-6.1	3.2	0.06
		なし	詳細不明の認知症	-8.2	4.1	0.05
		脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	-2.8	2.7	0.30
		脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-2.8	2.0	0.18
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	-4.9	3.3	0.15	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	0.1	2.9	0.99	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	-2.1	4.0	0.60	
その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)		詳細不明の認知症	-2.1	3.5	0.55	
間接		なし	脳血管性認知症	-2.6	1.6	0.11
		なし	アルツハイマー型認知症	1.6	1.9	0.41
		なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-2.4	1.7	0.17
		なし	詳細不明の認知症	1.4	2.2	0.53
		脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	4.2	1.4	0.01
		脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	0.2	1.1	0.84
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	4.0	1.8	0.03 *	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-4.0	1.6	0.01 *	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	-0.2	2.1	0.91	
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	詳細不明の認知症	3.8	1.9	0.05	

表 20 認知症疾患別・要介護認定基準時間(2)(一元配置分散分析、最小有意差分析)

			平均値の		
			差	標準誤差	P値
BPSD関連	なし	脳血管性認知症	-5.4	2.3	0.02 *
	なし	アルツハイマー型認知症	0.0	2.8	0.99
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-2.3	2.5	0.36
	なし	詳細不明の認知症	0.4	3.2	0.90
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	5.5	2.1	0.01 *
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	3.2	1.6	0.05
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	5.8	2.6	0.03 *
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-2.3	2.3	0.32
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	0.4	3.1	0.91
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	2.6	2.7	0.34	
機能訓練	なし	脳血管性認知症	3.0	1.7	0.08
	なし	アルツハイマー型認知症	1.5	2.1	0.48
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	2.4	1.8	0.20
	なし	詳細不明の認知症	3.2	2.4	0.19
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	-1.5	1.5	0.32
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-0.6	1.2	0.58
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	0.2	1.9	0.93
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	0.9	1.7	0.60
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	1.7	2.3	0.45
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	0.8	2.0	0.69	
医療関連	なし	脳血管性認知症	-1.6	3.8	0.67
	なし	アルツハイマー型認知症	-8.2	4.7	0.09
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-4.6	4.1	0.27
	なし	詳細不明の認知症	-4.4	5.4	0.41
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	-6.5	3.5	0.07
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-3.0	2.6	0.26
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-2.8	4.3	0.52
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	3.5	3.8	0.36
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	3.7	5.1	0.47
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	0.2	4.6	0.97	
認知症加算	なし	脳血管性認知症	-4.5	6.2	0.48
	なし	アルツハイマー型認知症	-3.8	7.7	0.62
	なし	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-9.1	6.7	0.18
	なし	詳細不明の認知症	0.0	8.7	1.00
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	0.7	5.7	0.91
	脳血管性認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-4.6	4.2	0.28
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	4.5	7.0	0.53
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	-5.3	6.2	0.40
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	3.8	8.3	0.65
	その他の認知症(前頭側頭型、レビー小体型)	9.1	7.4	0.23	



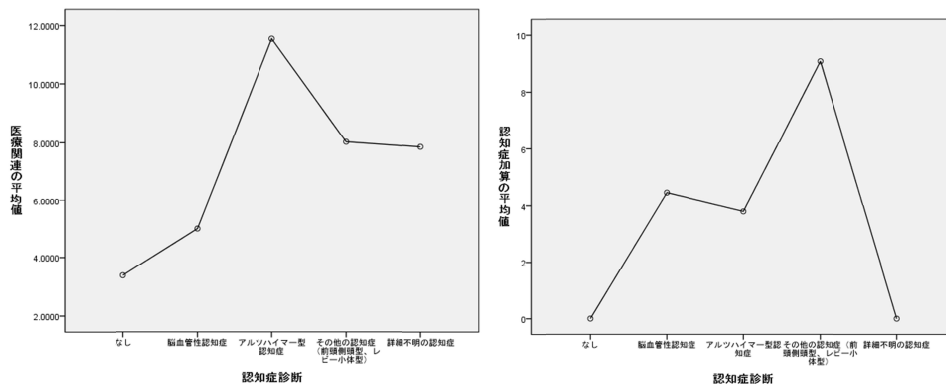


図5 認知症疾患別要介護認定基準時間

4) ケア時間の分析

調査対象者に提供されたケア時間の分析をしたところ、合計ケア時間は平均 97.0 分 (標準偏差 64.1) であった。

大分類別のケア時間を見ると、「療養上の世話」が 73.9 分 (標準偏差 56.1)、「専門的

看護」10.7 分 (標準偏差 11.6)、「リハビリテーション」8.9 分 (標準偏差 16.1)、「ケアシステム関連」1.5 分 (標準偏差 3.2)、「在宅ケア関連」2.0 分 (標準偏差 5.0) であった。

21 調査対象者に提供されたケア時間

	平均値 (分)	標準偏 差	最小値	最大値	ケア発 生割合 (%)	発生し ていた 人数
合計ケア時間	97.0	64.1	8.4	277.4	100.0	45
大分類別ケア時間						
療養上の世話	73.9	56.1	2.0	258.3	100.0	45
専門的看護	10.7	11.6	0.0	70.4	97.8	44
リハビリテーション	8.9	16.1	0.0	72.4	51.1	23
ケアシステム関連	1.5	3.2	0.0	14.5	37.8	17
在宅ケア関連	2.0	5.0	0.0	18.0	20.0	9

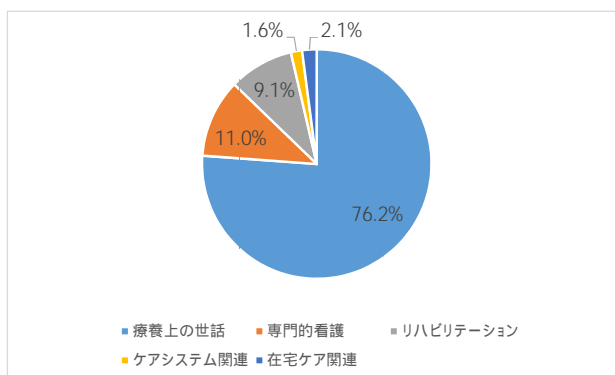


図5 調査対象者に提供されたケアの構成割合

認知症疾患別に分析したところ、ケア提供時間に、有意差がみられた組み合わせは、「脳血管性認知症と詳細不明の認知症」、「アルツハイマー型認知症と詳細不明の認知症」であり、いずれも「詳細不明の認知症」のほうが有意に長かった。

また、大分類別にみても、リハビリテーションは、「脳血管性認知症と詳細不明の認知症」、「アルツハイマー型認知症と詳

細不明の認知症」、「その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」と詳細不明の認知症」であり、いずれも「詳細不明の認知症」のほうが有意に長かった。

ケアシステム関連は、「なしとアルツハイマー型認知症」、「なしとその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」であり、いずれもなしのほうが有意に長かった。

表 22 認知症疾患別ケア時間

		平均値	標準偏差	標準誤差	最小値	最大値	N
合計ケア時間	なし	98.5	11.2	5.6	82.9	109.9	4
	脳血管性認知症	91.2	69.2	14.7	17.3	277.4	22
	アルツハイマー型認知症	65.0	59.7	26.7	8.4	156.4	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	100.3	57.8	17.4	29.8	198.4	11
	詳細不明の認知症	177.8	57.4	33.1	125.4	239.2	3
	合計	97.0	64.1	9.6	8.4	277.4	45
療養上の世話	なし	65.4	17.9	8.9	44.2	81.9	4
	脳血管性認知症	73.7	65.3	13.9	6.8	258.3	22
	アルツハイマー型認知症	41.3	35.6	15.9	2.0	86.0	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	77.6	46.5	14.0	14.1	143.7	11
	詳細不明の認知症	126.6	59.0	34.1	83.9	193.9	3
	合計	73.9	56.1	8.4	2.0	258.3	45
専門的看護	なし	15.2	10.9	5.5	5.6	29.6	4
	脳血管性認知症	9.7	6.6	1.4	1.2	27.1	22
	アルツハイマー型認知症	18.8	28.9	12.9	3.4	70.4	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	6.4	3.9	1.2	0.0	10.9	11
	詳細不明の認知症	14.4	16.3	9.4	2.6	33.0	3
	合計	10.7	11.6	1.7	0.0	70.4	45
リハビリテーション関連	なし	11.6	9.0	4.5	0.0	19.9	4
	脳血管性認知症	4.8	15.5	3.3	0.0	72.4	22
	アルツハイマー型認知症	4.6	7.4	3.3	0.0	16.9	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	10.8	18.0	5.4	0.0	54.9	11
	詳細不明の認知症	35.2	1.2	0.7	34.0	36.4	3
	合計	8.9	16.1	2.4	0.0	72.4	45
ケアシステム関連	なし	6.3	6.4	3.2	0.0	14.5	4
	脳血管性認知症	1.5	3.2	0.7	0.0	13.5	22
	アルツハイマー型認知症	0.3	0.7	0.3	0.0	1.5	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	0.5	0.7	0.2	0.0	2.0	11
	詳細不明の認知症	1.7	1.4	0.8	0.0	2.5	3
	合計	1.5	3.2	0.5	0.0	14.5	45
在宅ケア関連	なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
	脳血管性認知症	1.6	4.8	1.0	0.0	18.0	22
	アルツハイマー型認知症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	5.0	6.9	2.1	0.0	15.5	11
	詳細不明の認知症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	合計	2.0	5.0	0.7	0.0	18.0	45

表 23 認知症疾患別ケア時間（一元配置分散分析、最小有意差分析）

			平均値の差	標準誤差	P値	
合計ケア時間	なし	脳血管性認知症	7.2	33.9	0.83	
	なし	アルツハイマー型認知症	33.4	41.8	0.43	
	なし	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-1.9	36.4	0.96	
	なし	詳細不明の認知症	-79.4	47.6	0.10	
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	26.2	30.9	0.40	
	脳血管性認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-9.1	23.0	0.70	
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-86.6	38.3	0.03 *	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-35.3	33.6	0.30	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	-112.8	45.5	0.02 *	
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	詳細不明の認知症	-77.5	40.6	0.06	
	療養上の世話	なし	脳血管性認知症	-8.3	30.3	0.79
		なし	アルツハイマー型認知症	24.1	37.4	0.52
なし		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-12.2	32.5	0.71	
なし		詳細不明の認知症	-61.2	42.6	0.16	
脳血管性認知症		アルツハイマー型認知症	32.4	27.6	0.25	
脳血管性認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-3.9	20.6	0.85	
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	-52.9	34.3	0.13	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-36.3	30.1	0.23	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	-85.3	40.7	0.04 *	
その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）		詳細不明の認知症	-49.0	36.3	0.18	
専門的看護		なし	脳血管性認知症	5.5	6.2	0.39
		なし	アルツハイマー型認知症	-3.7	7.7	0.64
	なし	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	8.7	6.7	0.20	
	なし	詳細不明の認知症	0.8	8.8	0.93	
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	-9.1	5.7	0.12	
	脳血管性認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	3.2	4.2	0.45	
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-4.7	7.1	0.51	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	12.4	6.2	0.05	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	4.5	8.4	0.60	
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	詳細不明の認知症	-7.9	7.5	0.30	
	リハビリテーション関連	なし	脳血管性認知症	6.9	8.0	0.40
		なし	アルツハイマー型認知症	7.0	9.9	0.48
なし		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	0.8	8.6	0.93	
なし		詳細不明の認知症	-23.6	11.3	0.04	
脳血管性認知症		アルツハイマー型認知症	0.2	7.3	0.98	
脳血管性認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-6.1	5.5	0.27	
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	-30.4	9.1	0.00 **	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-6.3	8.0	0.44	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	-30.6	10.8	0.01 *	
その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）		詳細不明の認知症	-24.4	9.6	0.02 *	
ケアシステム関連		なし	脳血管性認知症	4.8	1.6	0.01
		なし	アルツハイマー型認知症	6.0	2.0	0.00 **
	なし	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	5.8	1.7	0.00 **	
	なし	詳細不明の認知症	4.6	2.3	0.05	
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	1.2	1.5	0.44	
	脳血管性認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	1.0	1.1	0.39	
	脳血管性認知症	詳細不明の認知症	-0.2	1.8	0.91	
	アルツハイマー型認知症	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-0.2	1.6	0.90	
	アルツハイマー型認知症	詳細不明の認知症	-1.4	2.2	0.53	
	その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	詳細不明の認知症	-1.2	1.9	0.55	
	在宅ケア関連	なし	脳血管性認知症	-1.6	2.7	0.55
		なし	アルツハイマー型認知症	0.0	3.3	1.00
なし		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-5.0	2.9	0.09	
なし		詳細不明の認知症	0.0	3.7	1.00	
脳血管性認知症		アルツハイマー型認知症	1.6	2.4	0.51	
脳血管性認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-3.3	1.8	0.07	
脳血管性認知症		詳細不明の認知症	1.6	3.0	0.59	
アルツハイマー型認知症		その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）	-5.0	2.6	0.07	
アルツハイマー型認知症		詳細不明の認知症	0.0	3.6	1.00	
その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）		詳細不明の認知症	5.0	3.2	0.13	

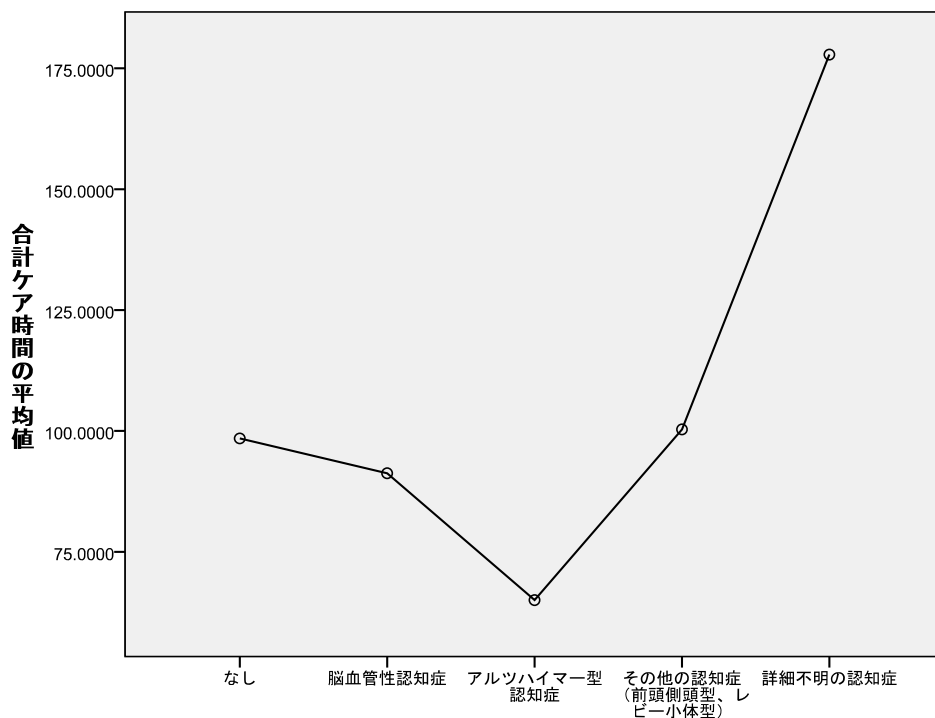


図 6 認知症疾患別合計ケア時間の平均値

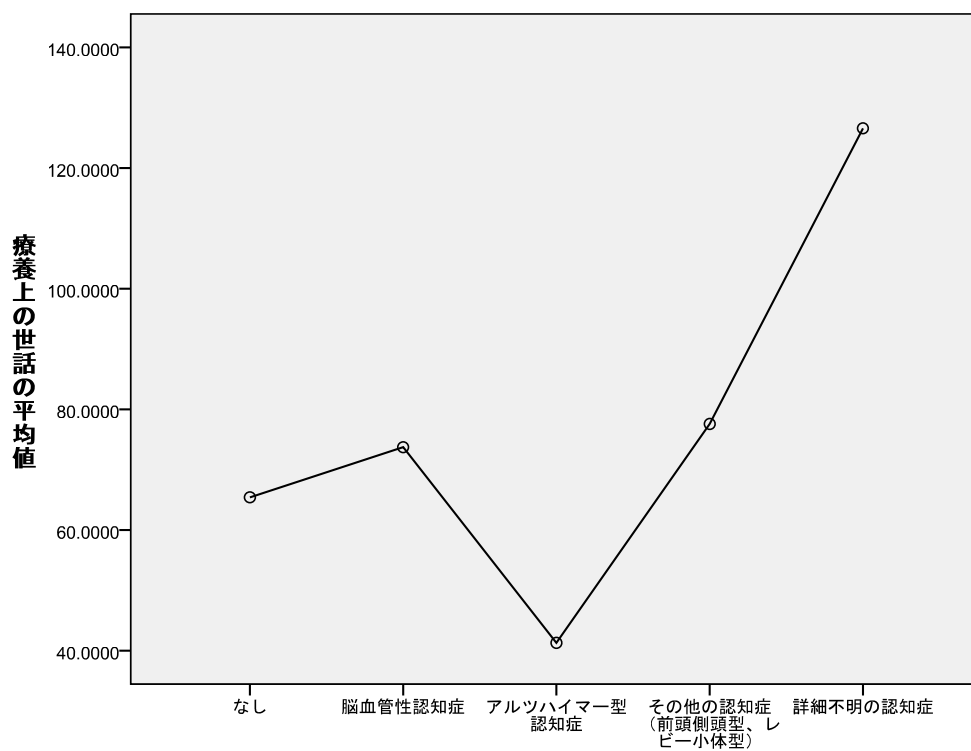


図 7 認知症疾患別療養上の世話の平均値

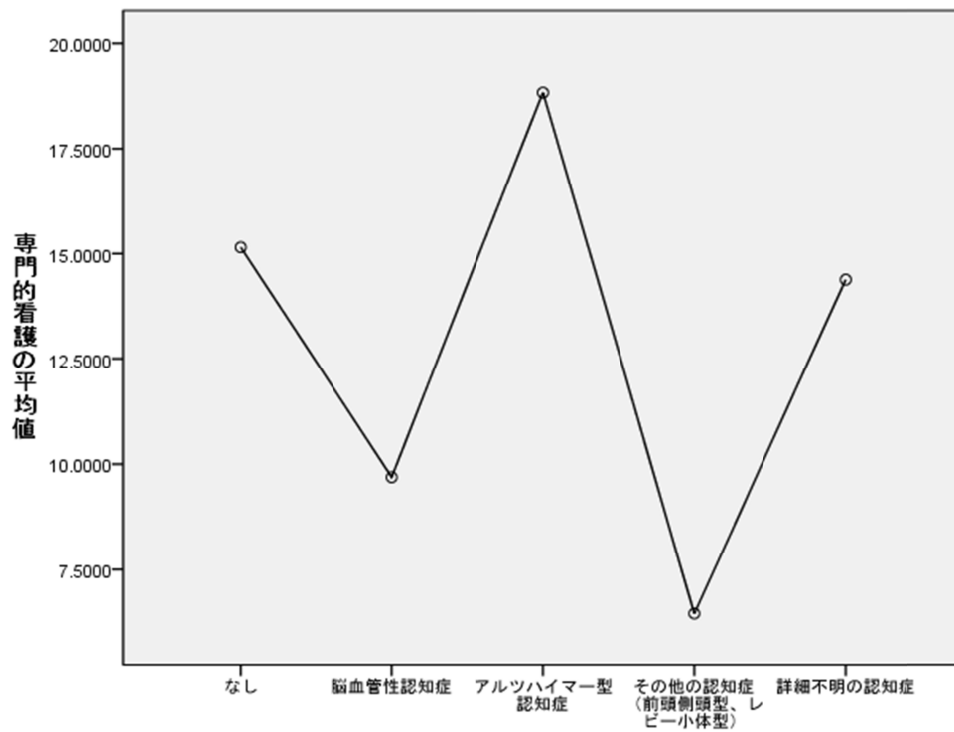


図 8 認知症疾患別専門的看護の平均値

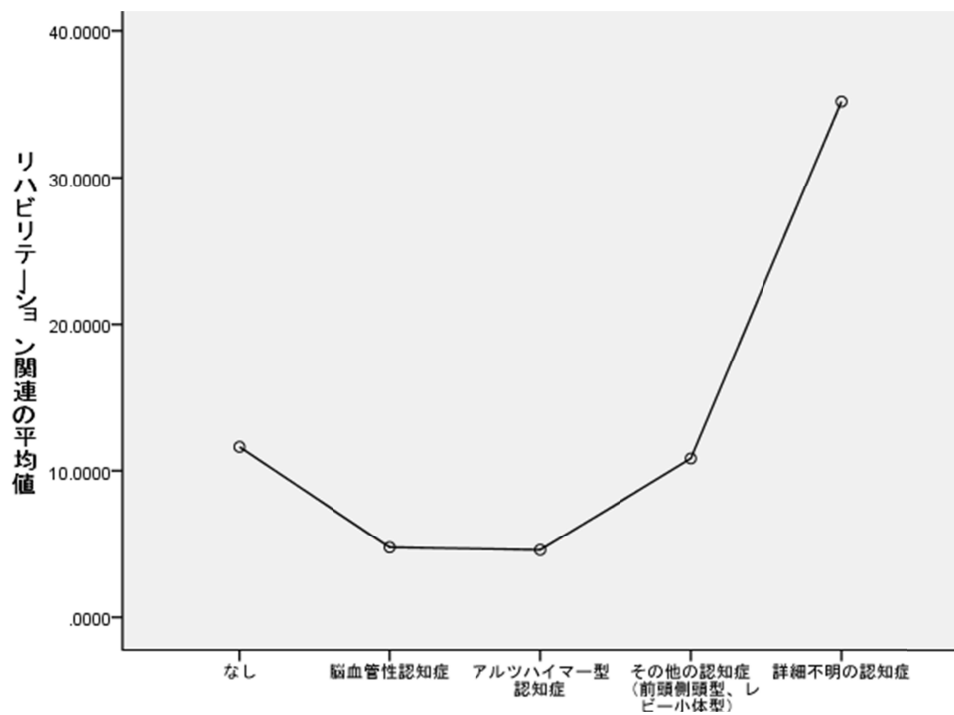


図 9 認知症疾患別リハビリテーションの平均値

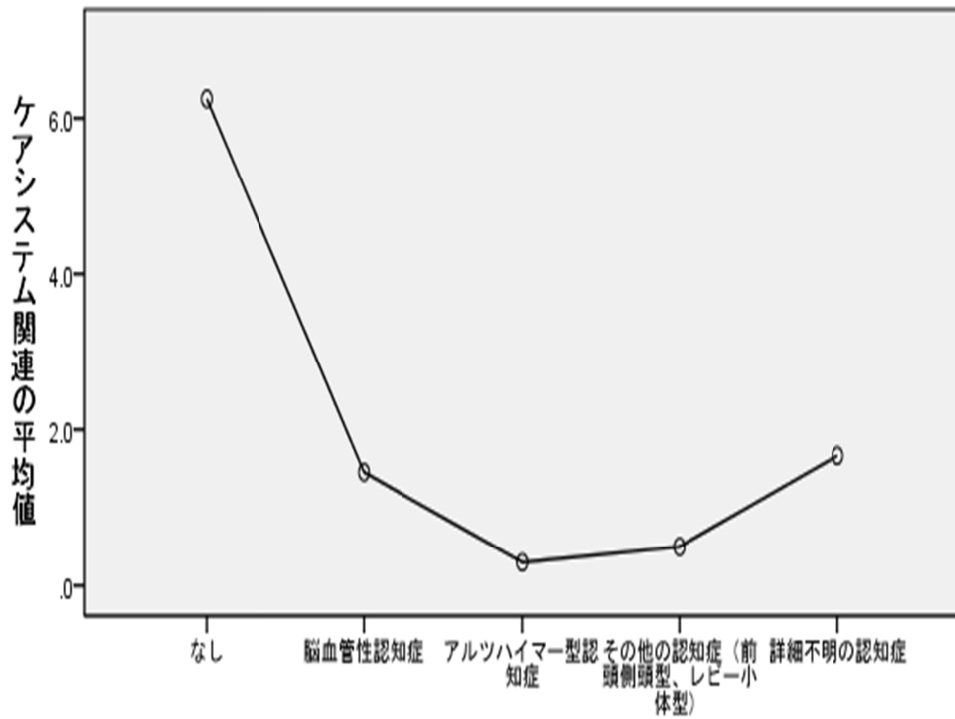


図 10 認知症疾患別ケアシステム関連の平均値

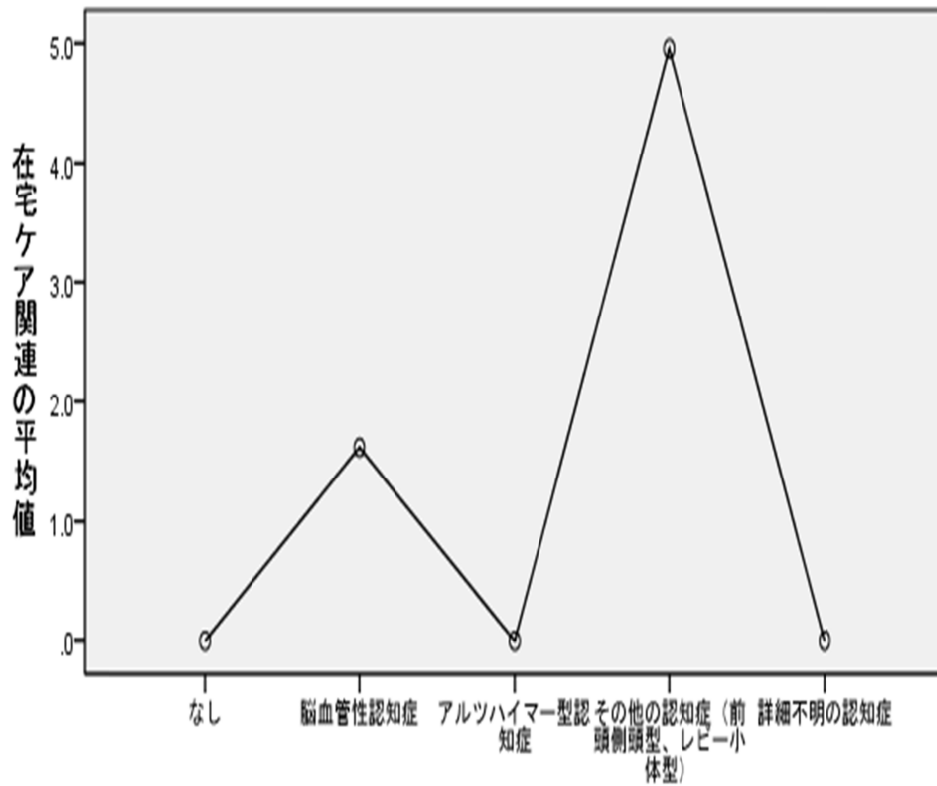


図 11 認知症疾患別在宅ケア関連の平均値

5) ケア内容別ケア発生割合・提供時間の分析

ケア内容別ケア発生割合を分析したところ、もっとも発生割合が高かったのは、「与薬・薬の塗布」97.8% (平均 6.8 分)であった。その後、「清潔・整容」が 93.3% (平均 16.2 分)、「移動(施設内)」93.3% (平均 10.7 分)と続き、入所者の 90%以上に発生していたのは、この 3 種類のケアのみであった。70%台は、「起居と体位変換」75.6% (平均 5.3 分)、「更衣」71.1% (4.0 分)の二つのケアであった。60%台は、「移乗」62.2% (平均 3.8 分)、「巡視・観察・測定」62.2% (平均 3.4 分)、「コミュニケーション」62.2% (平均 9.2 分)の 3 種類のケアであった。50%台は、「寝具・リネン」55.6% (平均 1.5 分)、「BPSD への対応」63.3% (平均 3.7 分)の 2 種類のケアであった。40%台は、「排泄」44.4% (平均 14.5 分)のみであっ

た。30%台は、「感覚器系の処置」33.3% (平均 1.7 分)、「運動器系機能の評価」33.3% (平均 1.1 分)の 2 種類のケアであった。20%台は、「運動器系機能の訓練」28.9% (3.5 分)、「洗濯」26.7% (平均 1.2 分)、「生活基本動作の拡大」26.7% (平均 2.9 分)、「行事・クラブ活動」26.7% (平均 1.2 分)、「送迎(移送サービス)」20.0% (平均 2.0 分)の 4 種類のケアであった。10%台は、「呼吸器系の処置」11.1% (平均 2.2%)、「言語療法」11.1% (平均 1.0 分)、「屋内の整理・清掃」11.1% (平均 0.2 分)の 3 種類のケアであった。10%未満は、「運動(身体)機能の維持・促進」8.9% (平均 0.2 分)、「物理療法」6.7% (平均 0.2 分)、「環境」2.2% (平均 0.1 分)、「入院・入所者の物品管理」2.2% (平均 0.1 分)、「作業療法」2.2% (平均 0.1 分)、「ケア関連会議・記録」2.2% (平均 0.2 分)の 6 種類のケアであった。

表 24 ケア内容別ケア発生割合・提供時間の分析

	平均値 (分)	標準偏差	最小値	最大値	発生割合 (%)	発生人数 (人)
与薬・薬の塗布	6.8	5.7	0.0	27.1	97.8	44
清潔・整容	16.2	15.0	0.0	49.0	93.3	42
移動(施設内)	10.7	10.9	0.0	47.4	93.3	42
起居と体位変換	5.3	6.2	0.0	23.1	75.6	34
更衣	4.0	4.4	0.0	16.0	71.1	32
移乗	3.8	6.7	0.0	41.0	62.2	28
巡視・観察・測定	3.4	4.5	0.0	18.0	62.2	28
コミュニケーション	9.2	10.7	0.0	38.9	62.2	28
寝具・リネン	1.5	3.2	0.0	19.0	55.6	25
BPSDへの対応	3.7	8.9	0.0	47.0	53.3	24
排泄	14.5	19.0	0.0	71.0	44.4	20
感覚器系の処置	1.7	4.6	0.0	28.6	33.3	15
運動器系機能の評価	1.1	2.0	0.0	8.0	33.3	15
運動器系機能の訓練	3.5	7.9	0.0	34.5	28.9	13
洗濯	1.2	2.4	0.0	10.0	26.7	12
生活基本動作の拡大	2.9	7.3	0.0	35.0	26.7	12
行事・クラブ活動	1.2	3.1	0.0	14.5	26.7	12
送迎(移送サービス)	2.0	5.0	0.0	18.0	20.0	9
呼吸器系の処置	2.2	9.7	0.0	61.0	11.1	5
言語療法	1.0	4.2	0.0	25.0	11.1	5
屋内の整理・清掃	0.2	0.7	0.0	4.0	11.1	5
運動(身体)機能の維持・促進	0.2	0.7	0.0	4.0	8.9	4
物理療法	0.2	1.4	0.0	9.0	6.7	3
環境	0.1	0.6	0.0	4.0	2.2	1
入院・入所者の物品管理	0.1	0.4	0.0	3.0	2.2	1
作業療法	0.1	0.6	0.0	4.0	2.2	1
ケア関連会議・記録	0.2	1.0	0.0	7.0	2.2	1

また、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」、その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）の組み合わせに着目し、認知症疾患別にケア内容別ケア提供時間を分析したところ、有意差が見られ

たのは、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」の組み合わせの「清潔・整容」、「BPSD への対応」、「洗濯」のみであり、いずれも脳血管性認知症のほうが有意に長かった。

表 25 脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症のケア内容別ケア時間（記述統計、T 検定）

	脳血管性認知症(N=22)			アルツハイマー型認知症(N=5)			P値
	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
清潔・整容	17.0	15.5	3.3	4.7	4.4	2.0	0.00 **
更衣	3.5	4.3	0.9	2.4	4.3	1.9	0.61
排泄	13.2	20.6	4.4	12.4	20.4	9.1	0.94
起居と体位変換	4.0	4.6	1.0	7.2	9.0	4.0	0.26
移乗	4.0	8.9	1.9	2.9	4.0	1.8	0.78
移動（施設内）	9.7	8.5	1.8	2.7	5.0	2.2	0.09
運動（身体）機能の維持・促進	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.53
BPSDへの対応	7.0	12.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.01 *
巡視・観察・測定	3.5	5.1	1.1	4.8	5.2	2.3	0.61
コミュニケーション	8.6	10.5	2.2	3.8	8.5	3.8	0.35
寝具・リネン	1.3	2.1	0.4	0.4	0.5	0.2	0.33
環境	0.2	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.64
洗濯	1.6	2.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.01 *
与薬・薬の塗布	9.1	6.6	1.4	5.7	3.5	1.6	0.28
呼吸器系の処置	0.3	0.9	0.2	12.2	27.3	12.2	0.38
感覚器系の処置	0.3	0.6	0.1	0.9	2.0	0.9	0.55
運動器系機能の訓練	2.3	8.0	1.7	0.6	1.3	0.6	0.64
生活基本動作の拡大	1.7	7.4	1.6	2.8	6.3	2.8	0.76
物理療法	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.50
言語療法	0.0	0.0	0.0	0.6	1.3	0.6	0.37
運動器系機能の評価	0.7	1.4	0.3	0.6	1.3	0.6	0.91
行事・クラブ活動	1.2	3.2	0.7	0.3	0.7	0.3	0.53
屋内の整理・清掃	0.2	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.57
送迎（移送サービス）	1.6	4.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.46

表 26 脳血管性認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）のケア内容別ケア時間（記述統計、T検定）

	脳血管性認知症 (N=22)			その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）(N=11)			P値
	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
清潔・整容	17.0	15.5	3.3	20.2	17.9	5.4	0.60
更衣	3.5	4.3	0.9	5.0	5.5	1.7	0.40
排泄	13.2	20.6	4.4	18.9	19.6	5.9	0.45
起居と体位変換	4.0	4.6	1.0	4.2	3.5	1.1	0.93
移乗	4.0	8.9	1.9	3.4	3.7	1.1	0.82
移動（施設内）	9.7	8.5	1.8	11.1	10.2	3.1	0.67
運動（身体）機能の維持・促進	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.1	0.77
BPSDへの対応	7.0	12.0	2.6	1.2	2.1	0.6	0.04
巡視・観察・測定	3.5	5.1	1.1	2.1	2.1	0.6	0.40
コミュニケーション	8.6	10.5	2.2	8.8	9.2	2.8	0.96
寝具・リネン	1.3	2.1	0.4	1.2	1.8	0.6	0.87
環境	0.2	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.49
入院・入所者の物品管理	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	0.3	0.34
洗濯	1.6	2.7	0.6	1.2	2.1	0.6	0.66
与薬・薬の塗布	9.1	6.6	1.4	5.0	3.9	1.2	0.07
呼吸器系の処置	0.3	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.16
感覚器系の処置	0.3	0.6	0.1	1.4	2.7	0.8	0.22
運動器系機能の訓練	2.3	8.0	1.7	5.7	10.2	3.1	0.30
生活基本動作の拡大	1.7	7.4	1.6	0.5	1.5	0.4	0.62
物理療法	0.1	0.3	0.1	0.8	2.7	0.8	0.40
言語療法	0.0	0.0	0.0	2.3	7.5	2.3	0.34
作業療法	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.4	0.34
運動器系機能の評価	0.7	1.4	0.3	1.1	2.2	0.7	0.47
行事・クラブ活動	1.2	3.2	0.7	0.2	0.5	0.2	0.32
屋内の整理・清掃	0.2	0.9	0.2	0.3	0.6	0.2	0.88
送迎（移送サービス）	1.6	4.8	1.0	5.0	6.9	2.1	0.17

D . 考察

1) 認知症疾患種類別認知機能・BPSD、CDR による重症度

認知症の疾患別・調査対象者の認知機能・問題行動等を分析した結果からは、疾患別に有意差が示されたのは、「c . 意欲がなく、新しいことへの興味がない」、「e . 発想が乏しい」、「i . ちょっとしたことでもイライラする」、「m . やさしい計算でも間違える」の4項目であった。

また、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」で有意差が示されたのは、上述の4項目に加え、「k . 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする」、「r . よく知った人の顔を見ても分からない、又は誤る」、「s . 忍耐力がなく、集中力が低下している」の3項目であり、「脳血管性認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」で有意差が示されたのは、「i . ちょっとしたことでもイライラする」のみであり、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうがあてはまっていた。

この結果からは、脳血管性認知症の方々におけるBPSDの症状が多様であることが示されたものと推察される。

一方、認知症のCDRの結果からは、疾患別に有意差が示されたのは、「家庭生活および趣味関心」のみであった。

さらに、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とその他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）」

の組み合わせに着目し、認知症疾患別に認知機能・問題行動等を分析した。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」で有意差が示されたのは、「見当識」以外の、「記憶」、「判断力と問題解決」、「地域社会活動」、「家庭生活および趣味関心」、「介護状況」すべてに有意差が示され、いずれも今回の調査対象者においては、脳血管性認知症のほうが重度の傾向が示されていた。

2) 認知症疾患とケア時間との関係

合計ケア時間・大分類別ケア時間をみると、詳細不明の認知症へのケア提供時間が長かった、ただし、データは3名と少なかった。

「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」そして、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」、その他の認知症（前頭側頭型、レビー小体型）の組み合わせに着目し、認知症疾患別にケア内容別ケア提供時間を分析した結果、有意差があったのは、「脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症」の組み合わせの「清潔・整容」、「BPSDへの対応」、「洗濯」のみであり、「脳血管性認知症」のほうが有意に長かった。

E . 結論

本研究では、介護保険施設入所者を対象として実施した認知症の鑑別診断および認知症に関わる詳細なアセスメント調査とタイムスタディ調査のデータを結合したデータを分析した。

この結果、認知症の疾患種類と認知機能やBPSDあるいは認知症の重症度、そして、認知症疾患とケア提供時間の関連性につい

での重要な基礎資料が示された。

今後は引き続き、疾患特有の状態像とケア提供の関連について、在宅や医療機関のデータを踏まえて、検討し、これによってエビデンスに基づいたケアや看護技術のあり方について検討を進めていく必要がある。

F．健康危険情報

なし

G．研究発表

なし

H．知的財産権の出願・登録状況

なし

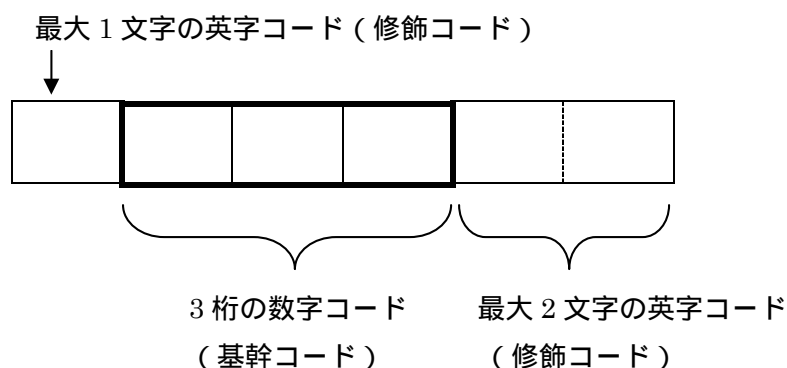
= ケアコード表 及び コード化方法 =

目 次

基本的な考え方.....	1
基幹コード（3桁の数字）.....	2
修飾コード（英字）.....	12
ケアコードの例.....	14
注意事項.....	19

< 基本的な考え方 >

H18 年高齢者介護実態調査のケアコード（3桁の数字）を基幹コードとし、前1文字の英字コード、後2文字の英字コードで修飾したものを、本調査のケアコードとします。



（1）前置する修飾コード

3桁の数字コードの前に“X”を付けることで、H18年高齢者介護実態調査の計測対象外のサービス内容であることを表現します。計測対象外のサービス内容の具体的例は、<ケアコードの例>に示しています。

（2）詳細情報を付加するための修飾コード

3桁の数字コードの後に英字を付加して、詳細情報を表現します。例えば、H18年高齢者介護実態調査のケアコードでは、問題行動に対するケアを行ったことは記録できますが、どのような問題行動だったかは記録できないので、「徘徊」、「暴言」などの問題行動の内容を詳細情報として付加します。

< 基幹コード > H18 年高齢者介護実態調査のケアコード

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
1	入浴・清潔保 持・整容・更 衣	1	入浴 (主に浴室,脱衣 所内での介助) 洗身・洗髪・ 洗面を含む 浴室・脱衣所 内の移動・移 乗・体位変 換・浴槽への 出入りを含む	1	準備	111	浴室・浴槽・簡易浴槽の準備(湯を沸かす・ 必要物品の点検など) 職員の入浴介助用の服装への着替え 浴室用ストレッチャー・車椅子(シャワーキャリーを含む) などの準備 その他の準備(タオル配布、タオルを取りに行く、 ストレッチャーにタオルを敷くなど)
				2	言葉による働き かけ	112	入浴の誘いかけ・拒否時の説明(浴室・脱 衣所内) 洗身,洗面,洗髪(入浴後のタオルでの身体拭き, 保湿クリーム塗布など)の誘いかけ・拒否時 の説明 ストレッチャー・車椅子(シャワーキャリー含) と浴槽間の移動・移乗・体位変換の誘いかけ・拒 否時の説明 浴槽への出入り時の移動・移乗・体位変換 の誘いかけ・拒否時の説明 その他浴室内の移動・移乗・体位変換の誘 いかけ・拒否時の説明
				3	介助	113	入浴介助 衣類の着脱 洗身・洗面・洗髪(入浴後のタオルでの身体拭 き、保湿クリーム塗布など)介助 ストレッチャー・車椅子(シャワーキャリーを含 む)と浴槽間の移動・移乗・体位変換の介助 浴槽への出入り時の移動・移乗・体位変換 介助 リフト操作 その他浴室内の移動・移乗・体位変換介助
				4	見守り等	114	入浴見守り等 洗身・洗面・洗髪(入浴後のタオルでの身体拭 き、保湿クリーム塗布など)も見守り ストレッチャー・車椅子(シャワーキャリーを含 む)と浴槽間の移動・移乗・体位変換の見守り 浴槽への出入り時の移動・移乗・体位変換 の見守り その他浴室内の移動・移乗・体位変換の見 守り
		5	後始末	115	入浴後の浴室・浴槽・簡易浴槽の清掃・洗 浄・整頓など 入浴後の浴室用ストレッチャー・車椅子(シャ ワーキャリーを含む)などの後始末 その他の後始末(衣類を洗濯物入れに運ぶ など)		
		2	清拭 (入浴時・排泄 時を除く)	1	準備	121	清拭のためのお湯・洗面器・沐浴剤・清拭 剤・ムース・タオルなどの準備 足浴・手指浴のためのお湯・洗面器・石鹸・ タオルなどの準備 陰部清拭・洗浄(排泄介助時、失禁時を除 く)坐浴のための洗面器・タオルなどの 準備 乾布清拭(清拭部位問わず)のための乾布な どの準備

			2	言葉による働きかけ	122	お湯・沐浴剤を用いた清拭（清拭部位問わず）の誘いかけ・拒否時の説明 清拭剤・ムースを用いた清拭（清拭部位問わず）の誘いかけ・拒否時の説明 足浴・手指浴の誘いかけ・拒否時の説明 陰部清拭・洗浄（排泄介助時、失禁時を除く）坐浴の誘いかけ・拒否時の説明 乾布清拭（清拭部位問わず）の誘いかけ・拒否時の説明	
			3	介助	123	お湯・沐浴剤を用いた清拭（清拭部位問わず） 清拭剤・ムースを用いた清拭（清拭部位問わず） 足浴・手指浴の介助 陰部清拭・洗浄（排泄介助時、失禁時を除く）坐浴の介助 乾布清拭（清拭部位問わず）	
			4	見守り等	124	お湯・沐浴剤を用いた清拭（清拭部位問わず）の見守り等 清拭剤・ムースを用いた清拭（清拭部位問わず）の見守り等 足浴・手指浴の見守り等 陰部清拭・洗浄（排泄介助時、失禁時を除く）坐浴の見守り等 乾布清拭（清拭部位問わず）の見守り等	
			5	後始末	125	清拭のためのお湯・洗面器・沐浴剤・清拭剤・ムース・タオルなどの後始末 足浴・手指浴のためのお湯・洗面器・石鹸・タオルなどの後始末 陰部清拭・洗浄（排泄介助時、失禁時を除く）坐浴のための洗面器・タオルなどの後始末 乾布清拭（清拭部位問わず）のための乾布などの後始末	
			3	洗髪（入浴時を除く）	1	準備	131
			2	言葉による働きかけ	132	洗髪（ドライシャンプーを含む）の誘いかけ・拒否時の説明等	
			3	介助	133	洗髪（ドライシャンプーを含む）の介助	
			4	見守り等	134	洗髪（ドライシャンプーを含む）の見守り等	
			5	後始末	135	洗髪後のシャンプー・ドライシャンプー・洗面器などの後始末	
		4	洗面・手洗い（入浴時を除く）（排泄時を含む）	1	準備	141	洗面（タオルで顔を拭くことを含む）のためのタオル・洗面器などの準備 高齢者自身の手洗いのためのタオル・石鹸・洗面器などの準備
				2	言葉による働きかけ	142	洗面（タオルで顔を拭くことを含む）の誘いかけ・拒否時の説明 高齢者自身の手洗いの誘いかけ・拒否時の説明
				3	介助	143	洗面（タオルで顔を拭くことを含む）の介助 高齢者自身の手洗いの介助
				4	見守り等	144	洗面（タオルで顔を拭くことを含む）の見守り等 高齢者自身の手洗いの見守り等
				5	後始末	145	洗面（タオルで顔を拭くことを含む）のためのタオル・洗面器などの後始末

							高齢者自身の手洗いのためのタオル・石鹸・洗面器などの後始末
--	--	--	--	--	--	--	-------------------------------

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード	ケアの内容例
1	入浴・清潔保持・整容・更衣	5	口腔・耳ケア (入浴時を除く)	1	準備	151	口腔洗浄(歯磨き)のための歯ブラシ・歯磨き粉・コップなどの準備 義歯の着脱のための義歯などの準備 義歯の洗浄のための義歯洗浄剤などの準備 うがいのためのイソジンガーグル・コップなどの準備 唾・痰を拭うためのタオル・ティッシュペーパーなどの準備 口唇の手入れのためのリップクリームなどの準備 耳掃除のための耳かき・綿棒などの準備
				2	言葉による働きかけ	152	口腔洗浄(歯磨き)の誘いかけ・拒否時の説明 義歯の着脱の誘いかけ・拒否時の説明 義歯の洗浄の誘いかけ・拒否時の説明 うがい(イソジンガーグル使用など)の誘いかけ・拒否時の説明 唾・痰を拭うことの誘いかけ・拒否時の説明 口唇の手入れ(リップクリーム塗布など)の誘いかけ・拒否時の説明 耳掃除の誘いかけ・拒否時の説明
				3	介助	153	口腔洗浄(歯磨き)の介助、耳掃除の介助 義歯の着脱の介助 義歯の洗浄の介助 うがい(イソジンガーグル使用など)の介助 唾・痰を拭う介助 口唇の手入れ(リップクリーム塗布など)の介助
				4	見守り等	154	口腔洗浄(歯磨き)の見守り等 義歯の着脱の見守り等 義歯の洗浄の見守り等 うがい(イソジンガーグル使用など)の見守り等 唾・痰を拭うことの見守り等 口唇の手入れ(リップクリーム塗布など)の見守り等 耳掃除の見守り等
				5	後始末	155	口腔洗浄(歯磨き)のための歯ブラシ・歯磨き粉・コップなどの後始末 義歯の着脱のための義歯などの後始末 義歯の洗浄のための義歯洗浄剤などの後始末 うがいのためのイソジンガーグル・コップなどの後始末 唾・痰を拭うためのタオル・ティッシュペーパーなどの後始末 口唇の手入れのためのリップクリームなどの後始末

						耳掃除のための耳かき・綿棒などの後始末
	6	月経への対処	1	準備	161	月経への対処の準備
			2	言葉による働きかけ	162	誘いかけ・拒否時の説明
			3	介助	163	月経への対処の介助
			4	見守り等	164	月経への対処の見守り等
			5	後始末	165	月経への対処の後片付け
	7	整容 (入浴後の頭髪のドライヤー乾燥含む)	1	準備	171	結髪・整髪のためのゴム・ヘアブラシ・くし・鏡などの準備 ドライヤーで乾燥、散髪のためのドライヤー・はさみなどの準備 爪切りの準備 髭剃りのためのかみそり・ひげそり用ムースなどの準備 おしゃれのための化粧水・乳液・ファンデーション・口紅・マニキュア・アクセサリなどの準備
			2	言葉による働きかけ	172	結髪・整髪誘いかけ・拒否時の説明 ドライヤーで乾燥、散髪誘いかけ・拒否時の説明 爪切りの誘いかけ・拒否時の説明 髭剃りの誘いかけ・拒否時の説明 おしゃれ(化粧・マニキュアを塗る・アクセサリ使用など)の誘いかけ・拒否時の説明
			3	介助	173	結髪・整髪介助 ドライヤーで乾燥、散髪介助 爪切りの介助 髭剃りの介助 おしゃれ(化粧・マニキュアを塗る・アクセサリ使用など)の介助
			4	見守り等	174	結髪・整髪の見守り等 ドライヤーで乾燥、散髪の見守り等 爪切りの見守り等 髭剃りの見守り等 おしゃれ(化粧・マニキュアを塗る・アクセサリ使用など)の見守り等
			5	後始末	175	結髪・整髪のためのゴム・ヘアブラシ・くし・鏡などの後始末 ドライヤーで乾燥、散髪のためのドライヤー・はさみなどの後始末 爪切りの後始末 髭剃りのためのかみそり・ひげそり用ムースなどの後始末 おしゃれのための化粧水・乳液・ファンデーション・口紅・マニキュア・アクセサリなどの後始末
	8	更衣 浴室・脱衣所・トイレでの更衣を除く	1	準備	181	更衣のための衣服(靴下、靴含む)などの準備
			2	言葉による働きかけ	182	更衣(靴下、靴含む)の誘いかけ・拒否時の説明 衣服を整えるための誘いかけ・拒否時の説明
			3	介助	183	更衣(靴下、靴含む)の介助 衣服を整えるための介助
			4	見守り等	184	更衣(靴下、靴含む)の見守り 衣服を整えるための見守り
			5	後始末	185	更衣のための衣服(靴下、靴含む)などの後始末
	9	その他	9	その他	199	清潔・整容・更衣その他

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
2	移動・移乗・ 体位変換	1	敷地内の移動 (浴室・脱衣所・トイレ内を除く)	1	準備	211	移動のための歩行器・シルバーカー・つえ・ストレッチャー・車椅子などの準備 ひざかけをかける
				2	言葉による働きかけ	212	歩行による移動の誘いかけ・拒否時の説明 歩行器・シルバーカーによる移動の誘いかけ・拒否時の説明 車椅子・ストレッチャーによる移動の誘いかけ・拒否時の説明 抱える、抱き上げる、背負っての移動の誘いかけ・拒否時の説明 転倒時の介助のための誘いかけ・拒否時の説明
				3	介助	213	歩行による移動介助(一緒に移動する) 歩行器・シルバーカーによる移動介助(一緒に移動する) 車椅子・ストレッチャーによる移動介助 抱える、抱き上げる、背負っての移動 転倒時の介助(起こす)
				4	見守り等	214	歩行による移動の見守り(移動する様子を見守る)等 歩行器・シルバーカーによる移動の見守り(移動している様子を見守る)等 車椅子・ストレッチャーによる移動の見守り等 転倒時、高齢者が起きあがる様子を見守り等
				5	後始末	215	移動後の歩行器・シルバーカー・つえ・ストレッチャー・車椅子などの後始末
		2	移乗 (浴室・脱衣所・トイレ内を除く)	1	準備	221	移乗のための椅子・車椅子・ストレッチャーなどの準備 移乗のための介助バー・ベッド柵の取り付けなど
				2	言葉による働きかけ	222	車椅子から、床・マット・椅子・ベッドへの移乗の誘いかけ・拒否時の説明 床・マット・椅子・ベッドから、車椅子への移乗の誘いかけ・拒否時の説明 ベッドから、ストレッチャーへの移乗の誘いかけ・拒否時の説明 ストレッチャーから、ベッドへの移乗の誘いかけ・拒否時の説明 ベッドからの昇降の誘いかけ・拒否時の説明 転落時の介助のための誘いかけ・拒否時の説明
				3	介助	223	車椅子から、床・マット・椅子・ベッドへの移乗介助 床・マット・椅子・ベッドから、車椅子への移乗介助 ベッドから、ストレッチャーへの移乗介助 ストレッチャーから、ベッドへの移乗介助 ベッドからの昇降介助 転落時の介助(起こす)
				4	見守り等	224	車椅子から、床・マット・椅子・ベッドへの移乗の見守り等

						床・マット・椅子・ベッドから、車椅子への移乗の見守り等 ベッドから、ストレッチャーへの移乗の見守り等 ストレッチャーから、ベッドへの移乗の見守り等 ベッドからの昇降の見守り等 転落時、入所（院）者が起き上がる様子の見守り等
			5	後始末	225	移乗後の椅子・車椅子・ストレッチャーなどの後始末 移乗後の介助バー・ベッド柵の取り外しなど
3	起座 (ギャッジベッドは含まない)	1	準備	231	座布団等起座のための道具の準備	
		2	言葉による働きかけ	232	誘いかけ・拒否時の説明	
		3	介助	233	座位を取らせる、座らせる際の介助	
		4	見守り等	234	起座時の見守り等	
		5	後始末	235	起座のための道具の後片付け	
4	起立	1	準備	241	履き物等起立のための道具の準備	
		2	言葉による働きかけ	242	誘いかけ・拒否時の説明	
		3	介助	243	立位を取らせる、立たせる際の介助	
		4	見守り等	244	起立時の見守り等	
		5	後始末	245	起立のための道具の後片付け	
5	その他の体位変換 (浴室・更衣所・トイレ内・起座・起立時を除く) (ギャッジベッドの操作を含む)	1	準備	251	体位変換のための枕・足底板・円座・離被架などの準備	
		2	言葉による働きかけ	252	誘いかけ・拒否時の説明 ギャッジベッドの操作の誘いかけ・拒否時の説明	
		3	介助	253	体位変換(体を起こす、支える、端座位から臥床させる、寝かせるなど) 座位を整える 姿勢をただす ギャッジベッドの操作	
		4	見守り等	254	体位変換時の見守り等	
		5	後始末	255	体位変換後の枕・足底板・円座・離被架などの後始末	
6	介助用具の着脱	1	準備	261	杖・義足など介助用具の準備	
		2	言葉による働きかけ	262	誘いかけ・拒否時の説明	
		3	介助	263	介助用具の着脱介助	
		4	見守り等	264	介助用具の着脱時の見守り等	
		5	後始末	265	介助用具の後片付け	
9	その他の体位変換	9	その他	299		

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例				
3	食事	1	調理 (対象者が調理するのを介助)	2	言葉による働きかけ	312	調理の誘いかけ・拒否時の説明。助言・指導等				
				3	介助	313	調理の介助(材料の加工・準備・後始末など)				
				4	見守り等	314	調理の見守り等				
		2	配膳・下膳 (対象者が配膳・下膳するのを介助)	2	言葉による働きかけ	322	配膳・下膳の誘いかけ・拒否時の説明。助言・指導等				
				3	介助	323	配膳・下膳の介助(材料の加工・準備・後始末など)				
				4	見守り等	324	配膳・下膳の見守り等				
		3	食器洗浄・食器の片づけ (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	332	食器洗浄・食器の片づけの誘いかけ・拒否時の説明。助言・指導等				
				3	介助	333	食器洗浄・食器の片づけの介助(材料の加工・準備・後始末など)				
				4	見守り等	334	食器洗浄・食器の片づけの見守り等				
		4	摂食		1	準備	341	食事・水分摂取のためのエプロン・ふきんなどの準備、食札数の確認 調理(食事を刻む、ミキサーにかけるなど) 食事の配膳・セッティング バイキングスタイル時などの食事のとりわけ			
					2	言葉による働きかけ	342	食事・水分摂取の誘いかけ・拒否時の説明。助言・指導			
					3	介助	343	配膳後の食事介助(食べ物を口にもって行って食べさせる、スプーンに手を添える 水分摂取介助(吸い飲み・コップのお茶や水などを飲ませるなど) 小骨を除く、バナナの皮をむくなど) むせた時の介助 食事の時に汚れた口の周りを拭く 食べ物が口の中に残っていないか確認する			
					4	見守り等	344	食事・水分の摂取状況の確認			
					5	後始末	345	食事の後始末(下膳、配膳の後始末、やかん・コップを集める、洗浄するなど)			
					5	水分補給		1	準備	351	与える水分・容器(吸い飲み・コップなど)を用意する 容器に水分を適量入れる 水分摂取のためのエプロン・ふきんなどの準備 水分の入った容器等を配膳する
								2	言葉による働きかけ	352	水分摂取の誘いかけ・拒否時の説明
		3	介助	353				水分摂取介助(吸い飲み・コップのお茶や水などを飲ませるなど)			
		4	見守り等	354				水分摂取の見守り等			
		5	後始末	355	水分摂取の後始末(配膳の後始末、やかん・コップを集める、洗浄するなど)						
		9	その他	9	その他	399					
4	排泄	1	排尿 (浴室を含む) (移乗・体位変換を含む)	1	準備	411	排尿のためのトイレトペーパーなどの準備 排尿時の移乗・体位変換のための物品準備				
				2	言葉による働きかけ	412	排尿の誘いかけ・拒否時の説明 トイレ・ポータブルトイレの便座への移乗の誘いかけ・拒否時の説明 排尿時に身体をささえる(収尿器・さし込				

						み便器の挿入・除去時など)ための 誘いかけ・拒否時の説明	
			3	介助	413	トイレでの衣類の着脱 排尿動作介助 排尿時の清拭 失禁時の排尿介助(問題行動への対応時は 除く) 排尿時トイレ・ポータブルトイレの便座へ の移乗介助 排尿時に身体をささえる(収尿器・さし込 み便器の挿入・除去時など)介助	
			4	見守り等	414	排尿時の見守り等 排尿時トイレ・ポータブルトイレの便座へ の移乗の見守り等 排尿時に身体をささえている収尿器・さし 込み便器の挿入・除去時などの見守り等	
			5	後始末	415	排尿時のトイレの水洗 排尿の後始末(トイレ・ポータブルトイレ の洗浄・消毒など) ポータブルトイレの後始末 収尿器・さし込み便器の洗浄・消毒 収尿器・さし込み便器の後始末 排尿時の移乗・体位変換後の物品の後始末	
		2	排便 (おむつに係る 介助を含む) (移乗・体位変 換を含む) (浴室内を含 む)	1	準備	421	排便のためのトイレトペーパーなどの準 備 おむつ交換のためのおむつ・パッドなど の準備 排便時の移乗・体位変換のための物品準備
				2	言葉による働き かけ	422	排便の誘いかけ・拒否時の説明 排便時の洗浄、坐浴の誘いかけ・拒否時 の説明 おむつ(パッドを含む)・おむつカバーの除 去・装着の誘いかけ・拒否時の説明 排便時トイレ・ポータブルトイレの便座へ の移乗の誘いかけ・拒否時の説明 排便時に身体をささえる(さし込み便器 の挿入・除去時など)ための 誘いかけ・拒否時の説明

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
4	排泄	2	排便 (おむつに係る 介助を含む) (移乗・体位変 換を含む) (浴室を含 む)	3	介助	423	トイレでの衣類の着脱 排便動作介助 排便時の清拭 排便時の洗浄、坐浴の介助 失禁時の排便動作介助(問題行動への対応 時は除く) おむつ(パッドを含む)・おむつカバーの除 去・装着 排便時トイレ・ポータブルトイレの便座へ の移乗介助 排便時に身体をささえる(さし込み便器の 挿入・除去時など)介助
				4	見守り等	424	排便時の見守り等 排便時の洗浄、坐浴の見守り等 おむつ(パッドを含む)・おむつカバーの除 去・装着の見守り等 トイレ・ポータブルトイレの便座への移乗 の見守り等 排便時に身体をささえている(さし込み便 器の挿入・除去時など)の見守り等
				5	後始末	425	排便時のトイレの水洗 排便の後始末(トイレ・ポータブルトイレ の洗浄・消毒など) ポータブルトイレの後始末 さし込み便器の洗浄・消毒 さし込み便器の後始末 おむつ(パッドを含む)・おむつカバーの後 始末 (使用後のおむつを所定の位置まで運ぶな ど) 排便時の移乗・体位変換後の物品の後始末
				9	その他	499	
5	生活自立支 援	1	洗濯 (対象者がする のを介助)	2	言葉による働き かけ	512	説明・指導等言葉による働きかけ
				3	介助	513	洗濯(乾燥)機の設定 洗濯物の出し入れ、洗濯物を運ぶ、干す、 取り入れる、収納する等、洗濯の一連の行 為に対する介助
				4	見守り等	514	洗濯の一連の行為に対する見守り等
		2	清掃・ごみの処 理 (対象者がする のを介助)	2	言葉による働き かけ	522	清掃・ごみの処理の誘いかけ・拒否時の説 明。助言・指導等
				3	介助	523	家具等を移動させる、清掃をする、ごみを 処理する等、清掃・ごみの処理に関する一 連の行為に対する介助
				4	見守り等	524	ごみの処理に関する一連の行為に対する見 守り等
		3	整理整頓 (対象者がする のを介助)	2	言葉による働き かけ	532	説明・指導等言葉による働きかけ
				3	介助	533	整理・整頓の一連の行為に対する介助
				4	見守り等	534	整理・整頓の一連の行為に対する見守り等
		4	食べ物の管理 (対象者がする のを介助) (調理以外)	2	言葉による働き かけ	542	説明・指導等言葉による働きかけ
3	介助			543	食べ物の管理に対する一連の行為に対する 介助		

		4	見守り等	544	食べ物の管理に対する一連の行為に対する見守り等
	5 金銭管理 (対象者がするのを介助) (家計簿・請求書処理以外)	2	言葉による働きかけ	552	説明・指導等言葉による働きかけ
		3	介助	553	金銭管理に関する一連の行為に対する介助 小口現金や領収書の管理など
		4	見守り等	554	金銭管理に関する一連の行為に対する見守り等
	6 戸締まり・火の始末・防災 (対象者がするのを介助)	2	言葉による働きかけ	562	説明・指導等言葉による働きかけ
		3	介助	563	戸締まり・火の始末・防災に関する一連の行為に対する介助
		4	見守り等	564	戸締まり・火の始末・防災に関する一連の行為に対する見守り等
	7 目覚まし、寝かしつけ	1	準備	571	目覚まし時計をかける、布団を持ってくる、音楽をかける
		2	言葉による働きかけ	572	起床・就寝時にベッドサイドでかける声かけや拒否時の説明
		3	介助	573	目を覚まさせる、寝かしつける(胸をとんとたたく) ふとんをかける
		4	見守り等	574	起床・就寝前後の観察、見守り等
		5	後始末	575	就寝後に消灯する。カーテンを閉める等
	8 その他の日常生活 (集う、テレビを見る、読書をする、たばこを吸うなど)	1	準備	581	その他の日常生活のための準備
		2	言葉による働きかけ	582	その他の日常生活の誘いかけ・拒否時の説明
		3	介助	583	物品をとる、たばこの火をつけるなど 身の回りの物の整理・整頓 入退院(所)手続き
		4	見守り等	584	その他の日常生活の見守り等
		5	後始末	585	その他の日常生活の後始末

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
5	生活自立支援	9	相談・助言・指導を含む会話、その他のコミュニケーション	1	挨拶・日常会話	591	定時の挨拶 日常会話
				2	心理的支援・訴えの把握	592	不安、孤独、恐れ、痛みなどへの対応（話を聴く、そばにいる、手を握るなど） ニーズの把握、相談・確認
				3	その他のコミュニケーション	593	本の朗読、手紙の代読・代筆 会話の援助、人間関係の調整、伝言の代行 ナースコールの受理・応答 食事や機能訓練の時間を伝達するために放送をかける
				4	生活指導	594	生活に関する本人・家族への指導（食事・水分摂取、排泄、入浴、健康管理、環境整備など） 入退所（院）時オリエンテーション
		0	その他	9	その他	509	
6	社会生活支援	1	行事、クラブ活動	1	準備	611	行事・クラブ活動、レクリエーション活動のための準備（会場・廊下などの飾り付け、展示物の陳列、使用物品の作成など）
				2	言葉による働きかけ	612	行事・クラブ活動、レクリエーション活動の誘いかけ・拒否時の説明
				3	実施・評価・介助	613	行事・クラブ活動、レクリエーション活動の実施 活動中の介助
				4	見守り等	614	行事・クラブ活動、レクリエーション活動中の見守り等
				5	後始末	615	行事・クラブ活動、レクリエーション活動の後始末（使用物品の後始末、写真・資料の整理など）
		2	電話、FAX、E-mail、手紙（対象者がするのを介助）	2	言葉による働きかけ	622	説明・指導等言葉による働きかけ
				3	介助	623	電話、FAX、E-mailを行う、手紙を書く際の一連の行為に対する介助
				4	見守り等	624	電話、FAX、E-mailを行う、手紙を書く際の一連の行為に対する見守り等
		3	文書作成（手紙を除く）（対象者が文書作成するのを介助）	2	言葉による働きかけ	632	説明・指導・助言等言葉による働きかけ
				3	介助	633	文書作成に対する一連の行為に対する介助
				4	見守り等	634	文書作成に対する一連の行為に対する見守り等
		4	来訪者への対応（対象者が来訪者への対応をする際の介助） 家族を含む	2	言葉による働きかけ	642	本人、来訪者に対する言葉による働きかけ
				3	介助	643	対象者が来訪者への対応をする際のサポート
				4	見守り等	644	対象者が来訪者への対応をする際の見守り等
		5	外出時の移動	2	言葉による働きかけ	652	外出時の施設敷地外における誘いかけ・拒否時の説明等言葉による働きかけ
				3	介助	653	施設敷地外での移動介助
				4	見守り等	654	施設敷地外での移動時の見守り等
		6	外出先での行為	2	言葉による働きかけ	662	その他の外出先での行為に対する言葉による働きかけ
				3	介助	663	その他の外出先での行為に対する介助(切

						符を買うなど)
			4	見守り等	664	その他の外出先での行為に対する見守り等
		7	職能訓練・生産活動	1	準備	671 職能訓練・生産活動の際の準備
			2	言葉による働きかけ	672	職能訓練・生産活動の際の誘いかけや拒否時の説明等、言葉による働きかけ
			3	実施・評価・介助	673	職能訓練・生産活動の際の身体的介助
			4	見守り等	674	職能訓練・生産活動の際の見守り等
			5	後始末	675	職能訓練・生産活動の際の後始末
		8	社会生活訓練 (日常生活訓練、対人関係訓練、SSTを含む)	1	準備	681 社会生活訓練の際の準備
			2	言葉による働きかけ	682	社会生活訓練の際の誘いかけや拒否時の説明等、言葉による働きかけ
			3	実施・評価・介助	683	社会生活訓練の際の身体的介助
			4	見守り等	684	社会生活訓練の際の見守り等
			5	後始末	685	社会生活訓練の際の後始末
		9	その他	9	その他	699
7	行動上の問題	1	行動上の問題の発生時の対応	1	準備	711 問題発生時の対応のための物品の準備 徘徊時に落ち着かせるためのおやつや飲み物などの準備など
				2	言葉による働きかけ	712 問題発生時の対応のための誘いかけ・拒否時の説明 徘徊時におやつや飲み物を提供するための誘いかけ・拒否時の説明など

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
7	行動上の問題	1	行動上の問題の発生時の対応	3	対応	713	徘徊への対応 一緒について歩く、一緒に散歩をする、おやつや飲み物を提供する 誘発要因を除く、落ち着く場所へ誘導する、探索する、高齢者を捜す 徘徊の目的を捉えるなど 不潔行為への対応 早めに声をかける、説明する、制止するなど 暴力行為・暴言・大声などへの対応 押さえつけようとせず落ち着いて話を聴く、仲裁するなど 破壊行為への対応 説明する、押さえつけないように制止する、落ち着いて話を聴く 誘発要因を除くなど 収集癖への対応 説明する、話を聴く、誘発要因を除くなど もの盗られ妄想・作話などへの対応 否定せず一緒に探す、話を聴くなど 繰り返しの訴え（帰宅願望など）や動作への対応 その都度話を聴く、他に興味を持たせ気分転換をはからせるなど 不眠・昼夜逆転への対応 不眠時話を聴く、おやつや飲み物を提供するなど 実際にはないものが見えたり聞こえたりすることへの対応 否定せず話しを聴く、気分転換をはからせるなど 不安、怒り、抑うつなど感情が不安定になることへの対応 話を聴く、スキンシップなど 性的な逸脱行動への対応 他に興味を持たせる、場をかえさせるなど 異食・盗食への対応 静かに話しかけ、食べているものをわたしてもらおう 口の中に残っているものを吐き出させるなど その他の行動上の問題への対応
				4	見守り等	714	問題発生時の見守り等 徘徊時に見守る等
				5	後始末	715	問題発生時の対応後の物品の後始末 徘徊時に提供したおやつや飲み物などの後始末など
		2	行動上の問題の予防的対応	1	準備	721	行動上の問題の予防的対応のための物品の準備 （徘徊の予防のために）安全な空間を確保するための部屋の準備など
				2	言葉による働き	722	行動上の問題の予防的対応のための誘いか

				かけ		け・拒否時の説明 (徘徊の予防のために)安全な空間を確保するための部屋への誘いかけ・拒否時の説明など
			3	実施・評価・介助	723	<p>徘徊への予防的対応 安全に動き回ることが出来る空間を確保する、転倒予防のために危険物を除去する、徘徊ルートなどを観察する、誘発要因を評価するなど</p> <p>不潔行為への予防的対応 排泄パターンを把握する、随時トイレに誘導する、行為時の観察をする トイレの場所を説明明示する、身ざれいにするなど</p> <p>暴力行為・暴言・大声などへの予防的対応 人間関係を調整する、誘発要因を評価する、スキンシップ、傷の手当をするなど</p> <p>破壊行為への予防的対応 周囲の物品を除去防護する、誘発要因を把握する、修理・修繕をするなど</p> <p>収集癖への予防的対応 収集物を除去する、事前に収集物を準備しておく、収集時の観察をする 誘発要因の評価をするなど</p> <p>もの盗られ妄想・作話などへの予防的対応 持ち物に名前を付ける、寂しさを感じさせないように話しかける 誘発要因を評価するなど</p> <p>繰り返しの訴え(帰宅願望など)や動作への予防的対応 同じ内容や方法を繰り返し、安心安定させる、会話の内容を評価するなど</p> <p>不眠・昼夜逆転への予防的対応 生活リズムを把握する、規則的な生活習慣をつける、昼寝の時間を短くする 日常生活の決まり事を継続するなど 実際にはないものが見えたり聞こえたりすることへの予防的対応 誘発要因を除去・評価するなど</p> <p>不安、怒り、抑うつなど感情が不安定になることへの予防的対応 話を聴く、音楽を聴かせる、慣れ親しんだものを持たせる 調理・掃除など一緒に役割活動をする、誘発要因を評価するなど</p> <p>性的な逸脱行動への予防的対応 環境を調整する、性的刺激を与えないようにする、適度なスキンシップ 誘発要因を評価するなど</p> <p>異食・盗食への予防的対応 危険物を目に入りやすいところや手の届くところへ置かない 残飯は素早く片づけるなど</p> <p>その他の問題行動への予防的対応 問題行動予防などのための個別的活動やグループ活動 生活歴に応じた慣れ親しんだ日常作業な</p>

						ど	
				4	見守り等	724	行動上の問題の予防的見守り (徘徊の予防のために)安全な空間を確保した時の見守りなど
				5	後始末	725	行動上の問題の予防的対応のための物品の後始末 (徘徊の予防のために)安全な空間を確保した後の部屋の片づけなど

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例
7	行動上の問題	3	行動上の問題の 予防的訓練	1	準備	731	行動上の問題の予防的訓練のための物品の準備
				2	言葉による働きかけ	732	行動上の問題の予防的訓練の誘いかけ・拒否時の説明
				3	実施・評価	733	五感の刺激、過去の体験の再現、回想などによる記憶や見当識の再生への働きかけ 写真を見せて思い出させるなど
				4	見守り等	734	行動上の問題の予防的訓練の見守り
				5	後始末	735	行動上問題の予防的訓練後の物品の後始末
		9	その他	9	その他	799	行動上の問題その他
8	医療	1	薬剤の使用 (経口薬、坐薬の投薬、注射、自己注射、輸液、輸血など)	1	準備	811	処方箋と処方薬の照合、薬の区分け、与薬の準備、注射せんの整理 薬を服用・使用しやすく整える(オブラートに包む、散剤を溶かすなど) 薬品戸棚、与薬車の管理、常備薬の管理、保冷庫の管理
				2	言葉による働きかけ	812	薬物療法時の誘いかけ・拒否時の説明
				3	介助・実施	813	経口薬・坐薬、注射、自己注射、輸液・輸血など 輸液・輸血中の固定、上下肢の抑制、姿勢の保持
				4	観察・見守り等	814	内服の観察、自己注射(インシュリン注射など)の観察、その他見守り
				5	後始末	815	薬物療法後の後始末
		2	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置 (吸引、吸入、排痰、経管栄養など)	1	準備	821	呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処置の物品の準備
				2	言葉による働きかけ	822	呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処置の誘いかけ・拒否時の説明
				3	実施・評価	823	呼吸器にかかる処置 吸入療法、ネブライザー、タッピング、体位排痰法 酸素吸入(テント法・経鼻カテーテル法・マスク法)、気管内挿管、気道の確保 気管切開、気管切開口のケア、カニューレ交換、在宅酸素・吸引などの機器点検 レスピレーター(人工呼吸器)の装着、胸腔内持続吸引カテーテルの管理など 循環器にかかる処置 カウンターショック(除細動操作)・心肺蘇生法の介助 弾性ストッキングの着用介助など 消化器にかかる処置 経口栄養の実施、経管栄養(経鼻、胃瘻)の実施、嘔吐に対するケア 胃チューブ(経鼻カテーテル)の交換 摘便、浣腸、ストーマ(人工肛門)に関する処置 腹部マッサージなど、その他排便に関することなど 泌尿器にかかる処置 膀胱訓練(手圧排尿殴打法)、導尿、膀胱・膀胱瘻留置カテーテルの交換

						採尿器(コリサーバー・コリドームなど)の着脱、尿パットの交換 透析(HD、CAPD)の介助など 処置に係る上下肢の抑制、姿勢の保持
			4	観察・見守り等	824	呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処置中の観察・見守り等
			5	後始末	825	呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処置の処置後の物品の後始末
	3	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置 (牽引・固定温・冷罨法など)	1	準備	831	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯科及び手術にかかる処置の物品の準備
			2	言葉による働きかけ	832	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯科及び手術にかかる処置の誘いかけ・拒否時の説明
			3	実施	833	運動器にかかる処置 ベッド上での牽引、ギプス巻き、カット温冷あん法、温冷湿布、湯タンポ、氷嚢・氷枕の介助など 皮膚にかかる処置 褥創、外科創などの処置包交、軟膏塗布、薬浴、軟膏を混ぜるなど皮膚処置の実施など 眼にかかる処置 点眼液・眼用軟膏、目やにの処置など 耳鼻咽喉にかかる処置 点鼻薬・耳外用薬、鼻出血の手当など 歯科にかかる処置 口腔内処置など 手術にかかる処置 生検・穿刺等の介助、処置中の固定術前・後の処置、剃毛、など 処置に係る上下肢の抑制、姿勢の保持
			4	観察・見守り等	834	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯科及び手術にかかる処置中の観察・見守り等
			5	後始末	835	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯科及び手術にかかる処置後の物品の後始末

3 桁	大分類	2 桁	中分類	1 桁	小分類	数字 コード	ケアの内容例		
8	医療	4	観察・測定・検査	1	準備	841	観察・測定・検査のための体温計・血圧計などの準備 検査伝票、検温板・温度板の準備・整理		
				2	言葉による働きかけ	842	観察・測定・検査のための誘いかけ・拒否時の説明		
				3	実施	843	バイタルサインのチェック、血圧・体温・脈拍・呼吸の測定 身長・体重・胸囲等の測定 その他の観察・測定（呼吸音心音聴診、腹部触診、睡眠の状態など） 食事摂取量・水分量チェック、水分出納管理、カロリー計算 排尿頻度・量・間隔などの確認 検体（血液、便、尿、痰、胃液等）の採取 心電図・呼吸機能検査・エックス線・内視鏡・血糖値など 観察・測定・検査結果などのメモ記入など		
				5	後始末	845	観察・測定・検査後の物品の後始末		
		5	指導・助言	1	準備	851	指導・助言のための物品の準備		
				2	誘いかけ・拒否時の説明	852	薬物療法時の誘いかけ・拒否時の説明		
				3	実施	853	服薬、尿路感染褥そう予防、口腔衛生などに関する指導・助言		
				5	後始末	855	指導・助言後の物品の後始末		
		6	病気の症状への対応 （診察介助等）	1	準備	861	診察介助のための物品の準備		
				2	言葉による働きかけ	862	診察の誘いかけ・拒否時の説明。指導・助言		
				3	実施	863	診察の介助等		
				5	後始末	865	診察介助後の物品の後始末		
		9	その他	9	その他	899			
		9	機能訓練 （居室での機能訓練を含む）	1	基本日常生活訓練 （理学療法的訓練）	1	準備	911	理学療法的訓練等のための物品の準備
						2	言葉による働きかけ	912	理学療法的訓練等の誘いかけ・拒否時の説明
						3	実施、評価、デモンストレーション	913	関節可動域・可動性・筋力の評価・訓練 筋緊張反射・感覚の評価訓練、疼痛の評価、片麻痺機能テスト 筋力増強・骨盤底筋（腹圧性尿失禁に対する）訓練 基本動作訓練 （寝返り、起き上がり、座位、立ち上がり、立位、バランス、移乗、移動、車椅子操作 歩行、駆動、装具装着など） 理学療法的訓練等のデモンストレーション その他の基本日常生活訓練（神経筋促通手技など）
4	見守り等					914	理学療法的訓練等を行っている際の見守り等		
5	後始末					915	理学療法的訓練等を行った後の物品の後始末		
2	応用日常生活訓練 （作業療法的訓練）			1	準備	921	作業療法的訓練等のための物品の準備		
				2	言葉による働きかけ	922	作業療法的訓練等の誘いかけ・拒否時の説明		
				3	実施、評価、デ	923	嚥下訓練評価、上肢機能・手指巧緻性、協		

				モンストレーション		調性・耐久性の訓練・評価 受動的遊び、運動遊び、視覚聴覚前庭覚、知的グループ遊びの実施・評価 革・竹・等細工、編み物、手芸、陶芸、版画、習字、縫い物彫刻、金工、簡易作業などの実施・評価 プーリーによる訓練、セラプラスト訓練、習字・文具・楽器使用・事務的活動訓練(ワープロ、タイプ、パソコンなど)の実施・評価 作業療法的訓練等のデモンストレーション その他の応用日常生活訓練
			4	見守り等	924	作業療法的訓練等を行っている際の見守り等
			5	後始末	925	作業療法的訓練等を行った後の物品の後始末
	3	言語・聴覚訓練 (言語・聴覚療法)	1	準備	931	言語・聴覚訓練のための物品の準備
			2	言葉による働きかけ	932	言語・聴覚訓練の誘いかけ・拒否時の説明
			3	実施、評価、デモンストレーション	933	知的精神機能評価、認知・見当識・失行・失認などの評価 失語の評価、構音障害の検査、失語症検査の実施、コミュニケーション能力の評価 発声・発語器官の運動をさせる、発声練習をさせる、構音練習をさせる 言語・聴覚訓練のデモンストレーション その他の言語療法的訓練
			4	見守り等	934	言語・聴覚訓練を行っている際の見守り等
			5	後始末	935	言語・聴覚訓練後の物品の後始末
	4	スポーツ訓練 (体操・準備体操含む)	1	準備	941	体操のためのカセットテープなどの準備 スポーツに用いるボール等用具の準備
			2	言葉による働きかけ	942	スポーツ訓練中の誘いかけ・拒否時の説明
			3	実施、評価、デモンストレーション	943	個人に対する体操、集団体操、競技の実施・評価 競技への参加、評価、デモンストレーション
			4	見守り等	944	スポーツ訓練時の見守り等
			5	後始末	945	スポーツ訓練に関係のある用具やカセットテープなどの後始末

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	数字コード	ケアの内容例
9	機能訓練 (居室での機能訓練を含む)	5	牽引・温熱・電気療法	1	準備	951	牽引・温熱・電気療法、マッサージのための物品の準備
				2	言葉による働きかけ	952	牽引・温熱・電気療法等の物理療法、マッサージの誘いかけ・拒否時の説明
				3	実施、評価、デモンストレーション	953	牽引・温熱・電気療法等の実施・評価 マッサージ、さする
				4	見守り等	954	牽引・温熱・電気療法等やマッサージ中の見守り等
				5	後始末	955	牽引・温熱・電気療法等物理療法やマッサージ後の物品の後始末
		9	その他	9	その他	999	
0	対象者に直接関わらない業務	1	対象者に関する こと	1	連絡調整	011	申し送り、ケアに関する打ち合わせ・連絡・報告等業務上の会話 看護・介護計画、個別ケア方策などの策定 カルテ回診 医療・行政担当者・義肢装具士ボランティア等との連絡・調整 要介護認定業務、ケアプラン作成業務 治療器具器材の購入・確認など 病歴・生活史・生活全般などについて本人・家族からの情報収集 家族との連絡・対応・調整等の話し合い
				2	記録・文書作成	012	カーデックス・看護・介護記録の記入、ADL評価記録・リハビリケース記録の記入 受診ノートなどの記入 カルテ・エックス線フィルム・検査伝票類・検査ファイルへの記入など 文献検索・調べもの カルテからの情報収集
				3	入院(所)者の病棟等 環境整備・掃除 (職員に関する場所・病室(居室)内を除く)	013	寝具・リネン整備(ベッドメーキング) 寝具・リネンを整える、寝具・リネン交換 ベッド周囲環境整備・掃除 床頭台・オーバーテーブルの整頓 ナースコールの整備 入所者の病棟等環境整備・掃除(職員に関する場所を除く) 温度・湿度調節、換気、窓の開閉、採光など調整 カーテンなどの開閉 病棟等(居室、食堂、処置室・器材室・汚物室など)の整理・整頓・清掃・消毒、ごみ捨て 洗濯 洗濯物を集める、洗濯室に持っていく、洗濯機などの準備・操作・後始末 洗濯物を手洗いする、洗濯物を干す・乾燥させる 洗濯物をたたむ・整理(アイロン含む)
				4	入所(院)者物品管理(物品購入を含む)	014	入所(院)者の依頼による物品購入(出前、通販を含む) 新聞、手紙、雑誌等の配布・管理、衣服・日用品整理、入れ替え、不要物品の整理 ロッカー整頓、冷蔵庫の管理、

					日用品・衣服の名前付け、ネームプレートの作成 洗濯物の居室への配布・整頓、衣服の修理、修繕 生け花・鉢植えの水替え・手入れ、小口現金や領収書の管理
		5	巡回、見直し	015	病棟内の巡回、食事・行事等の際の全体への見渡し
2	職員に関すること	1	手洗い	021	手洗い
		2	待機（仮眠）	022	勤務時間中の待機、仮眠など
		3	職員に関する記録・調整	023	勤務表・日課表などの作成 看護・介護職員日誌などの記入 職員会議、その他の会議（ケアに関するもの以外） 施設（院）内研修など
		4	休憩	024	職員自身の休憩（更衣、食事、トイレ、喫煙、私的会話、電話など）
		5	職員に関する環境整備・掃除（入所（院）者に関する場所を除く）	025	ナースステーション、休憩室、更衣室などの環境整備・掃除
		6	移動	026	職員の移動
		7	その他職員に関すること	027	その他職員に関すること
9	その他	9	その他	099	その他（通夜・告別式などの準備、出席、後始末など）

以下、基幹コード（数字3桁）の例を示します。

入浴ケア

ケア内容	ケアコード
入浴の誘い	1 1 2
↓	
居室から脱衣所までの移動の見守り	2 1 4
↓	
衣服をぬぐ際の見守り	1 1 4
↓	
脱衣所から洗い場への移動の見守り	1 1 4
↓	
洗い場から浴槽への移動の見守り	1 1 4
↓	
入浴の見守り	1 1 4
↓	
洗身の介助	1 1 3
↓	
浴槽から脱衣所への移動の見守り	1 1 4
↓	
濡れた身体を拭く介助	1 1 3
↓	
衣服を着る際の見守り	1 1 4
↓	
浴室から居室までの移動の見守り	2 1 4
↓	
職員が浴室まで戻る	0 2 6

排泄ケア

例1：車椅子でトイレに移動させ排泄介助を行う場合

ケア内容	ケアコード
排泄の誘い	4 1 2
↓	
ベッドから車椅子への移乗介助	2 2 3
↓	
トイレまでの車椅子をおす	2 1 3
↓	
車椅子から便器への移乗介助	4 1 3
↓	
衣服を脱がせる	4 1 3
↓	
排泄の介助	4 1 3
↓	
排泄後の清拭介助	4 1 3
↓	
衣服を着せる	4 1 3
↓	
便器から車椅子への移乗介助	4 1 3
↓	
手洗いの介助	1 4 3
↓	
病室までの車椅子を押す	2 2 3
↓	
車椅子からベッドへの移乗介助	2 2 3

例 2 : オムツ交換を行う場合

ケア内容	ケアコード
オムツ交換の声かけ	4 2 2
↓	
排泄時の体位変換介助	4 2 3
↓	
衣服を脱がせる	4 2 3
↓	
オムツカバーをはずす	4 2 3
↓	
オムツをはずす	4 2 3
↓	
おしりをふく介助	4 2 3
↓	
オムツをつける	4 2 3
↓	
オムツカバーをつける	4 2 3
↓	
腰をあげてもらふ	4 2 2
↓	
衣服を着せる	4 2 3

食事ケア

ケア内容	ケアコード
食事のテーブルのセッティング	3 4 1
↓	
食事の誘い	3 4 2
↓	
ベッドから車椅子の移乗介助	2 2 3
↓	
食事のテーブルまでの車椅子での移動介助	2 1 3
↓	
エプロンをつける	3 4 1
↓	
食事の配膳	3 4 1
↓	
スプーンで食べさせる	3 4 3
↓	
吸い飲みでお茶を飲ませる	3 4 3
↓	
バナナの皮をむく	3 4 3
↓	
入居者の方の口の回りをふく	3 4 3
↓	
口の中に食べ物が残っていないか確認	3 4 3
↓	
エプロンをとる	3 4 5
↓	
車椅子で洗面所へいく	2 1 3
↓	
義歯を取り外すのを見守る	1 5 4
↓	
義歯用洗淨水を準備する	1 5 1
↓	
義歯を洗淨水に入れる	1 5 3
↓	
義歯を入れた洗淨水を所定の位置に置く	1 5 5